

Annals of Uonuma Kikan Byoin

vol.3 2018.4-2019.3



新潟大学地域医療教育センター
魚沼基幹病院

目次

巻頭言

魚沼基幹病院 院長 内山 聖

診療部

・総合診療科	1
・循環器内科	2
・内分泌・代謝内科	4
・血液内科	5
・腎臓内科（リウマチ科・膠原病科）	7
・呼吸器・感染症内科	8
・消化器内科	10
・神経内科	14
・精神科	15
・小児科	16
・消化器外科・一般外科（乳腺外科）	18
・整形外科	21
・脳神経外科	24
・皮膚科	25
・泌尿器科	27
・耳鼻咽喉科	28
・産婦人科	29
・放射線治療科	30
・麻酔科	31
・救急科	32
・歯科口腔外科	33

診療情報管理室

34

看護部

35

医療安全管理室

36

薬剤部

37

医療技術部

・放射線技術科	38
・臨床検査科	40
・リハビリテーション技術科	41
・臨床工学科	42
・栄養管理科	43

巻 頭 言

人口当たり医師数が全国最下位に近い新潟県のなかでも、魚沼地域はもっとも医師数の少ない圏域でした。魚沼基幹病院が開院してから、医師数は若干多くなったとはいえ、魚沼地域の面積は6都府県より広大なうえ、わが国有数の豪雪地です。いち早く高齢化が進んでおり、特に冬季間、自分で運転できない高齢者が、目的の医療機関に受診するのは、かなりの困難を伴います。

さらに、救急患者や重症患者にとって、圏域内に受け入れ医療機関がないということは生命に係わる切実な問題です。実際、魚沼基幹病院が開院前は2割の重症救急患者が長岡圏域に搬送され、高度専門医療も2割の患者が圏域外で診療を受けていました。このような状況を打開するために、「地域全体でひとつの病院」を目指し、2015年6月、全国的にもあまり類をみない医療再編が行われ、ほとんどゼロから魚沼基幹病院が誕生しました。

魚沼基幹病院は、県が建設し、財団（一般財団法人新潟県地域医療推進機構）が運営する病院です。「地域全体でひとつの病院」構想の中で、従来、魚沼圏域で不十分であった三次救急医療、高度専門医療、周産期医療等を担う中核的役割が求められています。

高度専門医療は、大学病院に匹敵するレベルで診療や手術が展開されており、搬送患者に占める重症患者の割合（約4割）は全国でもトップクラスです。周産期医療は年に700件を超す分娩があり、NICUもフルに稼働しています。また、精神科医療も地域に欠かせない役割を果たしています。

魚沼基幹病院は診療に加え、教育、研究、人材育成にも力を入れています。新潟大学地域医療教育センターが併設され、院内で診療する90名弱の医師の約半数はセンター特任教員です。医学部5年生が院内に寝泊まりしながら総合臨床実習を行っています。初期臨床研修では大学病院等の協力型研修施設としても常時研修医を受け入れているほか、2018年度から臨床研修基幹型施設として研修医を受け入れています。2018年度には、NICU特任教授の和田雅樹先生が東京女子医科大学の教授に就任しました。

魚沼基幹病院では、院内各部署で人材育成とリサーチに鋭意取り組み、県内外の学会で数多くの成果を発表しています。院内に限っても、各部門リサーチ発表大会や地域に門戸を開いた看護部シミュレーター教育は、特筆すべき教育・研究活動と言えます。

この度、平成30年度業績集を刊行することになりました。スタッフには、「地域全体でひとつの病院」の中核的役割を自覚し、それぞれの責務の遂行に力を注ぐとともに、教育およびリサーチの重要性を絶えず心に留め、大いに活躍されることを期待しています。

すべては私たちを必要とする患者さんのためです。

令和元年8月

一般財団法人新潟県地域医療推進機構
魚沼基幹病院 病院長 内山 聖

論文（総説）

田中純太、蒲澤佳子、伊藤由美、成田一衛。魚沼コホート研究：うおぬま地方の健康調査。新潟医学会雑誌 132 (4)：115-119, 2018.

石山貴章。Inpatient Clinical Reasoning 米国 Hospitalist の事件簿(第 21 回) どうするも, こうするも。Medicina 55(5)：738-741, 2018.

石山貴章。Inpatient Clinical Reasoning 米国 Hospitalist の事件簿(第 22 回) 大胆すぎるにも, ほどがある。Medicina 55(6)：921-924, 2018.

石山貴章。魚沼基幹病院総合診療科。診断と治療 106(5)：651-654, 2018.

石山貴章。Inpatient Clinical Reasoning 米国 Hospitalist の事件簿(第 23 回) 冬の寒い日に。Medicina 55(7)：1102-1104, 2018.

田中純太。魚沼圏域の地域医療における疾病予防とコホート研究。新潟県医師会報 820：2-6, 2018.

石山貴章。Inpatient Clinical Reasoning 米国 Hospitalist の事件簿(第 24 回) Last Case。Medicina 55(8)：1286-1289, 2018.

石山貴章。【クリニカル・パール Premium!-憧れのカリスマ医師はかく語りき】シニアカリスマ医師はかく語りき ロバート・B・テイラー先生はかく語りき。総合診療 28(10)：1397-1399, 2018.

学会・研究会・講演会

田中純太。水中運動教室への参加が身体機能や体組成に与える影響について。第 29 回日本臨床スポーツ医学会学術集会, ポスター, 札幌, 2018/11/2-3.

論文（原著）

Nanasato M, Matsumoto N, Nakajima K, Chikamori T, Moroi M, Takehana K, Momose M, Nishina H, Kasai T, Yoda S, Kiso K, Yamamoto H, Nishimura S, Yamashina A, Kusuoka H, Hirayama A, Nishimura T. Prognostic impact of reducing myocardial ischemia identified using ECG-gated myocardial perfusion SPECT in Japanese patients with coronary artery disease: J-ACCESS 4 study. Int J Cardiol 267: 202-207, 2018.

論文（総説）

汲田伸一郎、吉永恵一郎、宮川正男、百瀬 満、木曾啓祐、笠井督雄、納谷昌直. 心臓サルコイドーシスに対する 18F-FDG PET 検査の手引き 2018 年改訂. 日本心臓核医学会誌 21 (1): 22-41, 2018.

笠井督雄. 冠動脈形成術 (PCI) の前には虚血の証明が必要～期待される負荷心筋シンチの役割～. 新潟県医師会報 821: 2-6, 2018.

Kasai T, Chikamori T. Problems of Cardiac Sarcoidosis to Be Solved: Considering Clinical Guidelines. Ann Nucl Cardiol 4 (1): 110-113, 2018.

山岸正和、玉木長良、笠井督雄 他. 慢性冠動脈疾患診断ガイドライン (2018 年改訂版) 担当箇所: 7.2 負荷心筋血流イメージング

中村正人、夜久 均、笠井督雄 他. 安定冠動脈疾患の血行再建ガイドライン (2018 年改訂版) 担当箇所: 1.2 非侵襲的虚血評価

著書

Kasai T. Myocardial Viability Assessment in Predicting Prognosis and Providing Optimal Management for Ischemic Left Ventricular Dysfunction. FRONTIERS in MYOCARDIA Bentam Books: 29-56, 2018.

学会・研究会・講演会

笠井督雄. 診療報酬改定で期待される負荷心筋血流シンチグラフィ. 第 18 回日本核医学会春季大会・ランチョンセミナー, 口演, 東京, 2018/5/13.

笠井督雄. 診療報酬改定で期待される負荷心筋血流シンチの役割. 新潟県不整脈カンファレンス 2018, 口演, 新潟, 2018/5/28.

笠井督雄. エキスパートフィルムリーディング. 第 53 回心臓核医学談話会, 口演, 東京, 2018/6/30.

Kasai T. It's time to advocate the power of myocardial perfusion imaging. 第 28 回日本心臓核医学会, 口演, 東京, 2018/7/6.

笠井督雄. 負荷心筋血流シンチ: 診療報酬改定で期待される虚血検出の役割. 第 28 回日本心臓核医学会・ランチョンセミナー, 口演, 東京, 2018/7/7.

笠井督雄. 虚血診断における負荷心筋血流シンチグラフィの活用. 座談会 (平成 30 年度診療報酬改定を受けて～機能的虚血評価の意義～), 口演, 東京, 2018/7/28.

笠井督雄. 疫学予防. 第 66 回日本心臓病学会, コメンテーター, 大阪, 2018/9/7.

笠井督雄. 診療報酬改定で期待される虚血検出の役割. 14th Good Job Conference in Niigata, 口演, 新潟, 2018/10/13.

笠井督雄. フィルムリーディング. 第 22 回心臓核医学フォーラム, 口演, 東京, 2018/10/20.

笠井督雄. 薬剤負荷心筋シンチにおける運動負荷併用法の有用性. 心筋血流イメージング×Physiological PCI カンファレンス in 浦安, 口演, 千葉, 2018/11/6.

笠井督雄. 不整脈を専門としない循環器内科医の心房細動診療. 塩沢医会, 口演, 南魚沼, 2018/11/7.

笠井督雄. 正確な機能的虚血評価の為に一技術的側面から. 第 58 回日本核医学会・日本心臓核医学会ジョイントセッション, 口演, 沖縄, 2018/11/16.

笠井督雄. 負荷心筋血流シンチ: 診療報酬改定で期待される虚血検出の役割. 第 56 回名古屋心臓核医学研究会, 口演, 名古屋, 2018/12/1.

笠井督雄. 心房細動診療と患者指導. かかりつけ薬剤師スキルアップセミナー, 口演, 南魚沼, 2018/12/19.

笠井督雄. 診療報酬改定で期待される負荷心筋血流シンチの役割. 群馬心臓核医学読影勉強会, 口演, 群馬, 2019/1/17.

笠井督雄. Appropriate PCI を目指す際の負荷心筋 SPECT の役割. 第 29 回日本心血管画像動態学会, 口演, 久留米, 2019/1/25.

笠井督雄. 強化スタチンと生活指導および運動療法で軽快した不安定狭心症の 1 例. 第 29 回日本心血管画像動態学会, ポスター, 久留米, 2019/1/25.

笠井督雄. 心臓核医学検査の解釈に必要な知識. Seminar in Nuclear Cardiology Niigata, 口演, 新潟, 2019/1/29.

笠井督雄. 心筋 SPECT 読影道場 Advanced (実践編). ニュータウンカンファレンス, 口演, 神戸, 2019/2/9.

笠井督雄. 不整脈を専門としない循環器内科医の心房細動診療. バイエル薬品 社内勉強会, 口演, 南魚沼, 2019/2/13.

笠井督雄. 負荷心筋シンチで虚血を評価する際に知っておくべきこと. 心臓核医学 Web 講演会, 口演, 南魚沼, 2019/2/20.

笠井督雄. 診療報酬改定で期待される負荷心筋血流シンチの役割. 第 30 回火の国 RI カンファレンス, 口演, 熊本, 2019/3/8.

笠井督雄. 診療報酬改定で期待される負荷心筋血流シンチの役割. 東信・北信地区心臓核医学講演会, 口演, 長野, 2019/3/13.

論文（症例報告）

Ohara N, Kaneko M, Yaguchi Y, Ishiguro H, Ishizaki F, Maruyama R, Suzuki K, Komeyama T, Usuda H, Yamazaki Y, Sasano H, Kaneko K, Kamoi K. A case of normotensive incidentally discovered adrenal pheochromocytoma. Clin Case Rep 6 (12): 2303-2308, 2018.

Ohara N, Hirokawa M, Kobayashi M, Ikeda Y, Yoneoka Y, Seki Y, Akiyama K, Tani T, Terajima K, Ozawa T. Reversible Non-parkinsonian Bradykinesia with Impaired Frontal Lobe Function as the Predominant Manifestation of Adrenal Insufficiency. Intern Med 57 (23): 3399-3406, 2018.

Kobayashi M, Ohara N, Ikeda Y, Nagano O, Takada T, Kodama M, Sone H. Glutamic Acid Decarboxylase Autoantibody-negative Slowly Progressive Type 1 Diabetes Mellitus: A Case Report and Literature Review. Intern Med 57 (24): 3581-3587, 2018.

Ohara N, Kobayashi M, Ohashi K, Ito R, Ikeda Y, Kawaguchi G, Yoneoka Y, Hasegawa G, Takada T. Isolated adrenocorticotrophic hormone deficiency and thyroiditis associated with nivolumab therapy in a patient with advanced lung adenocarcinoma: a case report and review of the literature. J Med Case Rep 13 (1): 88, 2019.

学会・研究会・講演会

小原伸雅. 魚沼基幹病院糖尿病療養チームの紹介. 2018CKD meeting, 小出, 2018/6/19.

小松 健, 小原伸雅, 若杉正嗣, 生越 章, 小澤鉄太郎. 著しい多関節痛を来した ACTH 分泌低下症の一例. 第 19 回日本内分泌学会関東甲信越支部学術集会, 口頭, 東京, 2018/9/8.

小原伸雅. 助産師、看護師さんに知っていただきたい糖尿病の基本的なお話. 魚沼基幹病院内レクチャー, 南魚沼, 2019/1/24.

小松 健, 小原伸雅, 長谷川剛, 小澤鉄太郎. 頭重感を契機に診断された高齢者インスリノーマの一例. 第 56 回日本糖尿病学会関東甲信越地方会, 口頭, 神奈川, 2019/1/26.

論文（原著）

Ueda Y, Obara N, Masuko M, Seki Y, Wada K, et al. Effects of eculizumab treatment on quality of life in patients with paroxysmal nocturnal hemoglobinuria in Japan. Int J Hematol 107 (6): 656-665, 2018.

関 義信、布施一郎、矢野敏雄、牛木隆志 他. 新潟県合同輸血療法委員会による小規模医療機関を含めた地域ミーティングと各種ツールによる全県的な適正かつ安全な輸血医療の向上に関する調査研究. 平成 30 年度血液製剤使用適正化方策調査研究事業報告書: 1-105, 2019.

論文（総説）

関 義信. 造血器悪性腫瘍に合併した DIC 診療. 臨床血液 59 (10): 2212-2221, 2018.

著書

関 義信. 出血傾向・血栓傾向の患者をみたときの診断アプローチ. Medical Practice (MP) 文光堂: 1026-1032, 2018.

関 義信. がん(固形がん)と DIC. 臨床に直結する血栓止血学改訂第 2 版 中外医学社: 309-315, 2018.

関 義信. FDP/Dダイマー. 徹底ガイド DIC のすべて 2019-20 総合医学社: 142-148, 2018.

学会・研究会・講演会

Y Motoo, M Hosaka, I Arai, Y Ishiura, T Ito, Y Seki, T Naito, Y Masuzawa, and T Nakayama. Efficacy of traditional Japanese medicine (Kampo) in supportive care in cancer: a meta-analysis of randomized controlled trials. MASCC/ISOO 2018, 口演, Vienna (オーストリア), 2018/6/29.

関 義信. 後天性フォンヴィルブランド症候群にご注意くださいー血小板数に惑わされないようにー. 第 7 回新潟血栓塞栓症研究会, 口演, 新潟, 2018/4/6.

関 義信. がんと血栓症. 新発田市薬剤師会学術講演会, 口演, 新発田, 2018/4/17.

関 義信. 「本日もいらしてますよ、血液疾患の患者さん」ー身近に潜む血液疾患の早期診断ー. 南魚沼市医師会三木会, 口演, 南魚沼, 2018/5/16.

関 義信、松山雄一、古俣 妙、大滝裕司、布施一郎、高頭成子、入倉和重. 新潟県合同輸血療法委員会の分科会活動介入後の地域連携構築に関する研究. 第 66 回日本輸血・細胞治療学会総会, 口演, 宇都宮, 2018/5/23.

関 義信. 化学療法中に疲弊した全身衰弱患者の脈所見とその反応性による治療継続性向上の試み. 第 69 回日本東洋医学会学術総会, 口演, 大阪, 2018/6/8.

関 義信. がんと血栓症. 第 22 回上越 JCM 研究会, 口演, 上越, 2018/6/22.

関 義信、川杉和夫. APL とそれ以外の AML による DIC の出血リスク評価ー今後の診断基準のあり方も含めてー. 第 40 回日本血栓止血学会学術集会, 口演, 札幌, 2018/6/29.

関 義信. 原因不明の出血症状を診たらどうするか? 十日町市中魚沼郡医師会学術講演会, 口演, 十日町, 2018/7/4.

関 義信. ET 患者における VWF 因子の動向. Meet The Expert 2018 for ET, 口演, 東京, 2018/7/20.

関 義信. 固形がん DIC の発症様式・臨床像とその対策. リコモジュリン Web 講演会, 口演, 東京, 2018/9/12.

関 義信. CML (慢性骨髄性白血病) を知ろう! ~転ばぬ先の基礎知識~. 世界 CML デーに考える白血病治療最前線セミナー, 口演, 新潟, 2018/9/21.

関 義信. 造血器悪性腫瘍に合併した DIC 診療. 第 80 回日本血液学会総会 教育講演 43(EL-3D), 口演, 大阪, 2018/10/11.

関 義信、長野央希. Clinical result of darbepoietin alpha in low grade myelodysplastic syndrome (MDS). 第 80 回日本血液学会総会, ポスター, 大阪, 2018/10/13.

関 義信. DIC/TMA. 日本血栓止血学会 第 6 回教育セミナー, 口演, 大阪, 2018/10/27-28.

関 義信、中島 勝. 日本での公費負担制度取得に苦慮した 1 留学生症例. 第 32 回日本エイズ学会学術集会・総会, 口演, 大阪, 2018/12/2.

関 義信. がんと血栓症. venous thrombosis meeting, 口演, 東京, 2019/2/9.

関 義信. 癌関連血栓症 (CAT) と DOAC. 第 13 回日本血栓止血学会 SSC シンポジウム, 口演, 東京, 2019/2/15.

関 義信. 当科での低リスク MDS を対象としたダルベポエチン α の治療成績. KHK Web 講演会, 口演, 新潟, 2019/3/11.

関 義信. いまどきの多発性骨髄腫の診断と治療. 塩沢医会, 口演, 南魚沼, 2019/3/13.

関 義信. 集中治療室で埋もれていた後天性血友病 A 症例 ~今後の対策を含めて~. 後天性血友病 in 関東, 口演, 東京, 2019/3/16.

研究費 (その他研究費)

関 義信: 平成 30 年度血液製剤使用適正化方策調査研究事業 新潟県合同輸血療法委員会による小規模医療機関を含めた地域ミーティングと各種ツールによる全県的な適正かつ安全な輸血医療の向上に関する調査研究. 2018-2018

論文（症例報告）

Koda R, Itoh R, Tsuchida M, Ohashi K, Iino N, Takada I, Narita I. Legionella Pneumonia Complicated with Acquired Fanconi Syndrome. Intern Med 57 (20): 2975-2980, 2018

Kitazawa A, Koda R, Yoshino A, Ueda Y, Takeda T. An IgA1-lambda-type monoclonal immunoglobulin deposition disease associated with membranous features in a patient with IgG4-related kidney disease: a case report. BMC Nephrol 19 (1): 330, 2018

Koda R, Tsuchida M, Iino N, Narita I. Hypophosphatemic Osteomalacia Associated with Adefovir-induced Fanconi Syndrome Initially Diagnosed as Diabetic Kidney Disease and Vitamin D Deficiency. Intern Med 58 (6): 821-825, 2019

学会・研究会・講演会

小林道、甲田亮、小原伸雅、牧野達夫、土田雅史、飯野則昭、成田一衛. 頸椎損傷後に中枢性塩類喪失症候群（CSW）を発症し、広範な近位尿管再吸収能低下を証明し得た一例，日本内科学会第142回信越地方会，口頭，新潟，2018/6/3

甲田亮、土田雅史、渡辺博文、飯野則昭、吉嶺文俊、成田一衛. 魚沼地域医療再編後に開設された新潟県立十日町病院腎臓外来から見たCKD医療連携の現状，第61回日本腎臓学会学術総会，ポスター，新潟，2018/6/8

甲田亮、土田雅史、飯野則昭、渡辺博文、成田一衛. 魚沼地域医療再編後の腹膜透析診療の現状，第63回日本透析医学会学術集会総会，口頭，神戸，2018/7/1

甲田亮、越後妻有地域におけるCKD医療連携の現状，十日町市中魚沼郡CKD conference，十日町，2018/9/20

甲田亮、土田雅史、飯野則昭、渡辺博文、成田一衛. 肝細胞癌術前にアデホビルによるFanconi症候群と診断された糖尿病合併腎臓病患者の一例，第48回日本腎臓学会東部学術総会，口頭，東京，2018/10/21

土田雅史、甲田亮、飯野則昭、乾幸平、中川由紀、西山勉、小熊文昭、成田一衛. 一側の下腿浮腫を契機とし、前立腺生検で組織診断したIgG4関連動脈周囲炎の一例，第48回日本腎臓学会東部学術総会，ポスター，東京，2018/10/21

論文 (原著)

Takada T, Ohashi K, Hayashi M, Asakawa K, Sakagami T, Kikuchi T, Sato S. Role of IL-15 in interstitial lung diseases in amyopathic dermatomyositis with anti-MDA-5 antibody. *Respiratory Medicine* 141: 7-13, 2018.

Bamba Y, Moro H, Aoki N, Koizumi T, Ohshima Y, Watanabe S, Sakagami T, Koya T, Takada T, Kikuchi T. Increased presepsin levels are associated with the severity of fungal bloodstream infections. *PLoS One* 13 (10): e0206089, 2018.

大橋和政、伊藤 竜、高田俊範、飯野則昭. 急速進行性間質性肺疾患に対するエンドトキシン吸着療法に伴う血清サイトカイン濃度の変化. *エンドトキシン血症救命治療研究会誌* 5 (1): 60-63, 2018.

Kitamura N, Ohkouchi S, Tazawa R, Ishii H, Takada T, Sakagami T, Tanaka T, Nakata K. Incidence of autoimmune pulmonary alveolar proteinosis estimated using Poisson distribution. *ERJ Open Research* 5 (1): pii:00190-2018, 2019.

Yuuki Bamba, Hiroshi Moro, Nobumasa Aoki, Takeshi Koizumi, Yasuyoshi Ohshima, Satoshi Watanabe, Takuro Sakagami, Toshiyuki Koya, Toshinori Takada and Toshiaki Kikuchi. Multiplex cytokine analysis in Mycobacterium avium complex lung disease: relationship between CXCL10 and poor prognostic factors. *BMC Infectious Diseases* 19 (1): 263, 2019.

著書

高田俊範、中田 光. 肺胞蛋白症. *呼吸器疾患最新の治療 2019-2020* 南江堂: 325-326, 2019.

学会・研究会・講演会

Toshinori Takada, Kazutaka Yoshizawa, Katsuaki Asakawa, Takuro Sakagami, Toshiaki Kikuchi, Shinji Sato. Serum Cytokine Profiles of Patients with Interstitial Lung Diseases in Amyopathic Dermatomyositis with anti-MDA-5 Antibody. 2018 米国胸部疾患学会, ポスター, サンディエゴ (米国), 2018/5/21.

Toshinori Takada, Takahiro Tanaka, Nobutaka Kitamura, Ryushi Tazawa, Koh Nakata, and MLSTS study group. Efficacy of five-year sirolimus therapy in Asian patients with lymphangioleiomyomatosis. RLDC 2018 (世界希少肺疾患会議), ポスター, シンシナティ (米国), 2018/9/7.

伊藤 竜、大橋和政、高田俊範. 非小細胞肺癌に対する抗 PD-1 抗体治療の治療効果と免疫関連有害事象の関連性の後方視的検討. 第 58 回日本呼吸器学会学術講演会, ポスター, 大阪, 2018/4/28.

大橋和政、高田俊範、伊藤 竜. 急性呼吸不全に対するエンドトキシン吸着 (PMX-DHP) 療法に伴う血清サイトカイン濃度の変化. 第 58 回日本呼吸器学会学術講演会, ポスター, 大阪, 2018/4/29.

高田俊範、吉澤和孝、林 正周、朝川勝明、坂上拓郎、菊地利明. 筋症状に乏しい抗 MDA-5 抗体陽性皮膚筋炎にともなう間質性肺疾患に対するミコフェノール酸モフェチル治療. 第 58 回日本呼吸器学会学術講演会, ポスター, 大阪, 2018/4/29.

大橋和政、伊藤 竜、高田俊範、甲田 亮、飯野則昭、土田雅史. Fanconi 症候群を合併したレジオネラ肺炎の一例. 第 81 回日本呼吸器学会北陸地方会, 口演, 金沢, 2018/6/9.

高田俊範、吉澤和孝、青木亜美、大橋和政、林 正周、坂上拓郎、菊地利明、佐藤慎二. 抗 MDA-5 抗体陽性皮膚筋炎にともなう間質性肺炎における IL-15 の役割. 第 21 回間質性肺炎細胞分子病態研究会, 口演, 東京, 2018/8/25.

高田俊範、田中崇裕、田澤立之、北村信隆、中田 光、MLSTS 研究グループ。リンパ脈管筋腫症に対するシロリムス長期内服の効果と安全性評価のためのコホート調査。第 3 回 LAM 研究会，口演，東京，2018/10/7。

高田俊範、田中崇裕、田澤立之、北村信隆、中田 光、MLSTS 研究グループ。リンパ脈管筋腫症に対するシロリムス長期内服の効果と安全性評価のためのコホート調査。第 82 回日本呼吸器学会北陸地方会，口演，福井，2018/10/27。

研究費（科学研究費）

高田俊範：代表 基盤研究（C） 16K09529 サイトカインパネル解析を用いた急速進行性間質性肺疾患の難治化機序の解明。
2016 - 2018

大橋和政：代表 基盤研究（C） 17K09605 急速進行性間質性肺疾患に対するポリミキシン B 吸着カラム療法の作用機序の解明。
2017 - 2019

高田俊範：分担 基盤研究（C） 16K09530 サイトカインパネル解析を用いた自己免疫性肺胞蛋白症の病態変化機序の解明。
2016 - 2018

高田俊範：分担 基盤研究（C） 17K09635 免疫組織化学と元素分析による肺組織解析－職業性肺疾患の正しい病態理解のために－。
2017 - 2019

高田俊範：分担 基盤研究（C） 17K10015 敗血症急性期において鉄調節因子ヘプシジンが果たす役割～新規治療法の開発に向けて。
2017 - 2019

研究費（その他研究費）

井上義一（高田俊範、研究協力者）：日本医療研究開発機構（難治性疾患実用化研究事業）肺胞蛋白症診療に直結するエビデンス創出研究：重症難治例の診断治療管理。2017 - 2019

論文（原著）

Kamimura K, Shinagawa-Kobayashi Y, Goto R, Ogawa K, Yokoo T, Sakamaki A, Abe S, Kamimura H, Suda T, Baba H, Tanaka T, Nozawa Y, Koyama N, Takamura M, Kawai H, Yamagiwa S, Aoyagi Y, Terai S. Effective prevention of sorafenib-induced hand-foot syndrome by dried-bonito broth. *Cancer Manag Res* 10: 805-813, 2018.

Tamura T, Arai Y, Sone M, Sugawara S, Ishii H, Morita S. Management of entrapped malecot catheters. *Interv Radiol* 3: 93-95, 2018.

Ichihara S, Kawamura M, Hirasawa K, Yagi K. MUC6-positive cell proliferation in the glandular neck zone of low-grade well-differentiated carcinoma. *Pathol Int* 68: 624-626, 2018.

Yagi K, Nagayama I, Hoshi T, Abe S, Morita S, Suda T, Hasegawa G, Sato Y, Terai S. Green epithelium revealed by narrow-band imaging (NBI): a feature for practical assessment of extent of gastric cancer after H.pylori eradication. *Endosc Int Open* 6 (11): E1289-E1295, 2018.

Suda T, Kanefuji T, Abe A, Nagayama I, Hoshi T, Morita S, Yagi K, Hatakeyama S, Hayatsu M, Hasegawa N, Terai S. A cut-off value of shear wave speed to distinguish nonalcoholic steatohepatitis candidates. *Medicine* 98 (2): e13958, 2019.

論文（総説）

Yagi K, Nagayama I, Hoshi T, Abe S, Morita S, Suda T, Sato Y, Terai S. Gastric cancer after H.pylori eradication therapy develops in the intermediate zone. Relationship to spasmolytic polypeptide-expressing metaplasia. *Open Access Journal of Surgery* ID.555751, 2018.

八木一芳、小田知友美、星 隆洋、森田慎一、兼藤 努、須田剛士、寺井崇二. H.pylori 除菌後発見胃癌の内視鏡診断と除菌の功罪 胃と腸 53 (5): 672-683, 2018.

八木一芳、小田知友美、星 隆洋、森田慎一、兼藤 努、須田剛士、寺井崇二. 拡大内視鏡が慢性胃炎の診断をどう変えたか. 胃と腸 53 (11): 1425-1437, 2018.

論文（症例報告）

Morita S, Kamimura K, Suda T, Oda C, Hoshi T, Kanefuji T, Yagi K, Terai S. Endoscopic ultrasound-guided transmural drainage for subphrenic abscess: report of two cases and a literature review. *BMC Gastroenterol* 18 (1): 55, 2018.

Tsuchiya A, Ogawa M, Watanabe Y, Kimura N, Hayashi K, Suda T, Terai S. Successful treatment of aortic dissection during sorafenib therapy for hepatocellular carcinoma. *Clin Case Rep* 6 (8): 1643-1644, 2019.

Morita S, Suda T, Oda C, Kobayashi M, Hoshi T, Kanefuji T, Yagi K, Hasegawa G, Terai S. Value of 18F-FDG PET scan for Diagnosis of Intertrabecular Vertebral Metastasis in a Case of Small Cell Lung Carcinoma with a High Serum CEA. *Intern Med* 58 (3): 415-48, 2019.

Tsuchiya A, Suda T, Oda C, Kimura A, Hosaka K, Kimura N, Tominaga K, Hayashi K, Takamura M, Terai S. EpCAM- and/or NCAM-Expressing Hepatocellular Carcinoma in Which Behavior of Hepatic Progenitor Cell Marker-Positive Cells Are Followed. *Case Rep Gastroenterol* 13: 118-124, 2019.

著書

Yokoo T, Kamimura K, Kanefuji T, Suda T and Terai S. Nucleic Acid-Based Therapy. Development of a Nonviral-Based Delivery Approach IntechOpen: 3-20, 2018.

学会・研究会・講演会

Yagi K. Magnifying endoscopic diagnosis of gastritis and gastric cancer, especially post-eradicated mucosa and cancer. Chinese Association of Digestive Disease. 講演, 遵義 (中国), 2018/6/24.

Morita S, Oda C, Hoshi T, Kanefuji T, Yagi K, Suda T, Terai S. Advancement of percutaneous drainage of abdominopelvic abscess in safety: an US-guided puncture with real-time image fusion system. Cardiovascular Interventional Radiological Society of Europe 2018, ポスター, リスボン (ポルトガル), 2018/9/25-27.

Yokoo T, Kanefuji T, Suda T, Kimura N, Setsu T, Kamimura H, Sakamaki A, Kamimura K, Tsuchiya A, Takamura M, Yamagiwa S, and Terai S. A Rational Arrangement of Measuring Shear Wave Speed in the Liver Evoked By Acoustic Radiation Force Impulse. AASLD The Liver Meeting, ポスター, サンフランシスコ (米国), 2018/11/9-13.

Yagi K. Endoscopic features of gastritis after eradication therapy and Green epithelium: the method of distinguish cancer from gastritis by NBI. Micro-invasive technique, Bowel disease & Prevention and early diagnosis of colorectal neoplasm, 講演, 北京 (中国), 2018/11/11.

Morita S, Nagayama I, Hoshi T, Abe S, Kanefuji T, Yagi K, Suda T, Terai S. Endoscopic transpapillary biliary biopsy using the sheath of a plastic stent with a non-return valve. Asian Pacific Digestive Week 2018, ポスター, ソウル (韓国), 2018/11/15-17.

Nagayama I, Suda T, Kanefuji T, Hoshi T, Abe A, Morita S, Yagi K, Terai S. A gravity-assisted liver stiffness measurement. Asian Pacific Digestive Week 2018, 口演, ソウル (韓国), 2018/11/15-17.

Yagi K. Endoscopic features of gastritis after eradication therapy and Green epithelium: the method of distinguish cancer from gastritis by NBI. The 3rd Shandong University conference on early detection and treatment of gastrointestinal tumor, 講演, 済南 (中国), 2018/11/25.

八木一芳, 佐藤祐一, 寺井崇二. 除菌後胃癌の好発部位としての中間帯の検討. 第104回日本消化器病学会総会, パネルディスカッション, 東京, 2018/4/19.

須田剛士, 兼藤 努, 寺井崇二. 非アルコール性脂肪肝炎候補者の選別と、肥満と独立した特徴の抽出. 第104回日本消化器病学会総会, 口演, 東京, 2018/4/21.

八木一芳. 除菌後胃粘膜と除菌後発見胃癌の内視鏡的特徴像と組織像. 十日町消化器セミナー, 講演会, 十日町, 2018/4/27.

八木一芳, 佐藤祐一, 寺井崇二. NBI内視鏡で観察される除菌後胃癌背景粘膜の green epithelium の組織学的検討. 第95回日本消化器内視鏡学会総会, パネルディスカッション, 東京, 2018/5/10.

八木一芳. 胃の拡大内視鏡診断の実際 除菌後発見胃癌へのアプローチを含めて. 第577回東海胃腸疾患研究会, 講演会, 名古屋, 2018/5/18.

森田慎一, 小田知友美, 星 隆洋, 兼藤 努, 八木一芳, 須田剛士, 寺井崇二. 同時性多発胆管癌の一例. 第62回日本消化器病学会甲信越支部例会, 口演, 松本, 2018/5/26.

八木一芳。除菌後胃粘膜と除菌後発見胃癌の内視鏡的特徴像と組織像。第15回鈴鹿消化管研究会，講演，鈴鹿，2018/6/8。

八木一芳。除菌後胃粘膜と除菌後発見胃癌の内視鏡的特徴像と組織像。札幌拡大内視鏡研究会，講演，札幌，2018/6/11。

須田剛士、佐藤俊大、寺井崇二。うっ血病態における肝線維化進展指標の確立。第54回日本肝臓学会総会，ワークショップ，大阪，2018/6/14-15。

須田剛士、兼藤 努、阿部 惇、永山逸夫、小田知友美、星 隆洋、阿部聡司、森田慎一、八木一芳、寺井崇二。健診における NASH 拾い上げのための肝硬度の閾値設定と肝硬度からみた NAFLD 肝癌の特徴。第54回日本肝臓研究会，パネルディスカッション，久留米，2018/6/28。

八木一芳。H. pylori 除菌後胃癌 除菌後胃粘膜内視鏡像の特徴と除菌後発見胃癌。消化器 Forum in Kashiwazaki，講演，柏崎，2018/7/5。

八木一芳。除菌後胃癌は中間帯から発生している その機序の解明への道。新潟医学会7月例会，講演，新潟，2018/7/21。

八木一芳。除菌後胃粘膜と除菌後発見胃癌の内視鏡的特徴像と組織像。逢妻川 GI conference 2018，講演，豊田，2018/9/1。

須田剛士。よくわかる肝臓健康講座。肝炎講演会（魚沼保健所肝炎相談事業），講演，小出，2018/9/5。

八木一芳。除菌後胃粘膜内視鏡像の特徴と除菌後発見胃癌。京都消化器医学会定期学術講演会，講演，京都，2018/9/8。

八木一芳。H. pylori 除菌 to 見胃癌の内視鏡診断 拡大内視鏡によるアプローチを中心に。Gastro-esophageal Forum 2018，講演，宇都宮，2018/9/27。

八木一芳。H. pylori 除菌と胃癌の内視鏡診断 拡大内視鏡によるアプローチを中心に。第13回奈良消化器がん懇話，講演，奈良，2018/9/27。

八木一芳。除菌後胃粘膜と除菌後発見胃癌の内視鏡的特徴像と組織像。第4回滋賀消化器疾患シンポジウム，講演，草津，2018/9/28。

八木一芳。除菌後胃粘膜と除菌後発見胃癌の内視鏡的特徴像と組織像。第81回病理診断講座，講演，盛岡，2018/10/7。

八木一芳。除菌後胃粘膜と除菌後発見胃癌の内視鏡的特徴像と組織像。第23回KOTO病理学セミナー，講演，京都，2018/10/12。

星 隆洋。症例検討会における症例提示。第1回新潟奈良拡大内視鏡研究会，口演，奈良，2018/10/13。

八木一芳。胃癌とピロリ菌。魚沼基幹病院市民講座，講演，南魚沼，2018/10/28。

須田剛士、兼藤 努、小田知友美、星 隆洋、森田慎一、八木一芳、寺井崇二。NAFLDにおける肝細胞癌発がんの特徴。JDDW 2018，ポスター，神戸，2018/11/1-4。

森田慎一、永山逸夫、星 隆洋、阿部聡司、兼藤 努、八木一芳、寺井崇二。外瘻ドレナージ先行の超音波内視鏡下胆道ドレナージの有用性。第85回日本消化器内視鏡学会甲信越支部例会，口演，松本，2018/11/17。

八木一芳。除菌後胃粘膜と除菌後発見胃癌の内視鏡的特徴像と組織像。第16回東北消化器内視鏡懇話会，講演，山形，2018/11/17。

八木一芳。除菌後胃粘膜と除菌後発見胃癌の内視鏡的特徴像と組織像。第107回大垣消化器懇話会，講演，大垣，2018/11/30。

大崎暁彦、和栗暢生、渡辺史郎、須田剛士、窪田智之、兼藤 努、佐藤俊大、土屋淳紀、高村昌昭、寺井崇二。NAFLD 診療体系構築における肝硬度測定の意義。第 42 回日本肝臓学会東部会，口演，東京，2018/12/7。

窪田智之、兼藤 努、須田剛士、大崎暁彦、和栗暢生、渡辺史郎、佐藤俊大、土屋淳紀、高村昌昭、寺井崇二。音響放射圧を用いた肝硬度測定の標準化に向けた取り組み。第 42 回日本肝臓学会東部会，口演，東京，2018/12/7。

八木一芳、永山逸夫、星 隆洋、阿部聡司、森田慎一、須田剛士、佐藤祐一、寺井崇二。NB1 では除菌後胃癌は茶色に見えることが多い。その原理と有用性。第 15 回消化管学会総会学術集会，シンポジウム，佐賀，2019/2/2。

研究費（科学研究費）

八木一芳：代表 基盤研究（C） 19K08389 胃癌発生腺管の 3D 組織構築と遺伝子解析からの検討。2019 - 2022

八木一芳：分担 基盤研究（C） 19K08462 小腸絨毛基底膜における「窓」の脂肪吸収に対する調節機能の解明。2019 - 2021

論文（総説）

小澤鉄太郎. 消化器と自律神経：神経変性疾患の自律神経障害における消化管ホルモン. 自律神経 55 (4): 292-294, 2018.

著書

小澤鉄太郎ほか. 消化管ホルモン検査、脳性麻痺、帯状疱疹・単純性疱疹. 神経精神疾患による消化器障害ベッドサイドマニュアル 中外医学社: 148-150, 281-284, 330-332, 2019.

学会・研究会・講演会

寺島健史. ギラン・バレー症候群について. 十日町中魚沼郡学術講演会, 講演, 十日町市, 2018/7/17.

小澤鉄太郎. 神経変性疾患の自律神経障害における消化管ホルモン. 第71回日本自律神経学会総会, シンポジウム, さいたま, 2018/10/25-26.

研究費（科学研究費）

小澤鉄太郎: 代表 基盤研究 (C) 19K07957 シヌクレイノパチー前駆症状に関与する口腔微生物神経毒の定量的検討. 2019 -2021

論文（原著）

Yukawa T, Iwakura Y, Takei N, Saito M, Watanabe Y, Toyooka K, Igarashi M, Niizato K, Oshima K, Kunii Y, Yabe H, Matsumoto J, Wada A, Hino M, Iritani S, Niwa S, Takeuchi R, Takahashi H, Kakita A, Someya T, Nawa H. Pathological alterations of chondroitin sulfate moiety in postmortem hippocampus of patients with schizophrenia. *Psychiatry Res* 270: 940-946, 2018.

論文（総説）

Yuriko Iwakura, Yutaro Kobayashi, Hisaaki Namba, Yuichiro Watanabe, Toshiyuki Someya, Hiroyuki Nawa, Takayuki Yukawa. Epidermal growth factor regulates accumulation of perineuronal nets in the developing GABA neurons. 第41回日本神経科学大会, 口演, 兵庫, 2018/7/26-29.

有波 浩, 鈴木雄太郎. 急性期治療において注意すべき身体的副作用. *臨床精神薬理* 21 (9): 1211-1219, 2018.

学会・研究会・講演会

有波 浩, 鈴木雄太郎, 田尻美寿々, 常山暢人, 染矢俊幸. うつ病の重症度と血清 prolactin 濃度との関連. 第15回日本うつ病学会総会, ポスター, 東京, 2018/7/28-29.

有波 浩. 統合失調症の理解と関わり方. こころのサポート講座-地域と生きる 地域で生きる-, 口演, 南魚沼, 2018/9/15.

恩田啓伍, 折目直樹, 横山裕一, 染矢俊幸. 高齢発症の嫉妬妄想にドネペジルが奏功した一例. 平成30年度新潟精神医学会, 口演, 新潟, 2018/10/13.

湯川尊行, 寺島健史, 井上絵美子, 有波 浩, 恩田啓伍. パーキンソン病を併発した統合失調症の一例. 平成30年度新潟精神医学会, 口演, 新潟, 2018/10/13.

湯川尊行, 小澤鉄太郎, 寺島健史, 伊藤 岳, 渡部雄一郎, 信田慶太, 菊地 佑, 染矢俊幸. 精神運動興奮のため措置入院となった抗NMDA受容体脳炎の1例. 第38回日本精神科診断学会, ポスター, 川越, 2018/10/18-19.

恩田啓伍, 常山暢人, 須貝拓朗, 鈴木雄太郎, 染矢俊幸. 変換症による不随意運動との鑑別に苦慮した遅発性ジスキネジアの一例. 第38回日本精神科診断学会, ポスター, 川越, 2018/10/18-19.

恩田啓伍, 湯川尊行, 井上絵美子. エナジードリンク長期飲用の中止後に統合失調症様症状が出現したカフェイン誘発性精神病性障害の1例. 第21回新潟総合病院精神医学研究会, 口演, 新潟, 2019/2/23.

湯川尊行, 小松 健, 小原伸雅, 土田雅史, 若杉正嗣, 井上絵美子, 有波 浩, 恩田啓伍. 産後うつ病として治療されていたACTH依存性クッシング症候群の1例. 第21回新潟総合病院精神医学研究会, 口演, 新潟, 2019/2/23.

研究費（科学研究費）

井上絵美子: 代表 若手研究(B) 17K16371 成長関連タンパク43 (GAP43) の神経発達障害への影響. 2017 - 2019

論文（原著）

Miura M, Kobayashi T, Kaneko T, Ayusawa M, Fukazawa R, Fukushima N, Fuse S, Hamaoka K, Hirono K, Kato T, Mitani Y, Sato S, Shimoyama S, Shiono J, Suda K, Suzuki H, Maeda J, Waki K and The Z-score Project 2nd Stage Study Group. Association of Severity of Coronary Artery Aneurysms in Patients With Kawasaki Disease and Risk of Later Coronary Events. *JAMA Pediatrics* 172 (5): 1–9, 2018.

Ozawa J, Ohno S, Fujii Y, Makiyama T, Suzuki H, Saitoh A, Horie M. Differential Diagnosis Between Catecholaminergic Polymorphic Ventricular Tachycardia and Long QT Syndrome Type 1 – Modified Schwartz Score. *Circ J* 82 (9): 2269–2276, 2018.

論文（総説）

和田雅樹. 体液・電解質異常. *小児科診療別冊* 81 (増刊): 1000–1002, 2018.

和田雅樹. 医療的ケア児について. *新潟県医師会報* 818: 65–66, 2018.

和田雅樹. 吸引器・吸引カテーテル. *周産期医学* 48 (6): 671–675, 2018.

鈴木 博. 学校心臓検診—現状と課題、南魚沼市での取り組み. *新潟県小児科医会会報* 60: 11–13, 2018.

鈴木 博. QT 短縮と QT 短縮症候群. *日本小児循環器学会雑誌* 35 (1): 9–17, 2019.

論文（症例報告）

Suzuki R, Suzuki H, Wada M, Saito A. Pharyngolaryngeal Edema in Mumps Virus Infection: A Rare Complication. *Pediatr Int* 60 (5): 493–494, 2018.

原田瑞生、鈴木 博、白井崇準、小嶋絹子、板垣成孝、和田雅樹、井口英幸、大橋 伯、大塚岳人、齋藤昭彦. 細菌性髄膜炎を契機に診断された先天性皮膚洞の一例. *新潟医学会雑誌* 132 (5): 203–207, 2018.

著書

鈴木 博ほか. 携帯型心電図. *小児・成育循環器学 診断と治療社*: 131–133, 2018.

学会・研究会・講演会

和田雅樹、岬 美穂、伊藤友弥 他. 災害急性期. 第 121 回日本小児科学会学術集会・小児周産期医療従事者向け災害医療研修会, 研修会, 福岡, 2018/4/22.

和田雅樹、岬 美穂、伊藤友弥 他. 災害急性期. 第 54 回日本周産期・新生児医学会学術集会・小児周産期医療従事者向け災害医療研修会, 研修会, 東京, 2018/7/10.

田嶋直哉. 食物アレルギーの基礎知識と症状発症時の対応について. *新発田市アレルギー研修会*, 口頭, 新潟, 2018/8/7.

山田明日実、鈴木 博、小嶋絹子、田嶋直哉、井口英幸. 肺膿瘍をきたした 10 歳男児. *中越小児研究会*, 口演, 新潟, 2018/9/20.

田嶋直哉. 新潟県内の小児アレルギー疾患の現状～小児科医の立場から～. 第 57 回新潟県小児保健研究会, 口頭, 新潟, 2018/10/17.

田嶋直哉. どうしたらいい?ウチの子の食物アレルギー. 魚沼基幹病院市民公開講座, 口頭, 新潟, 2018/10/28.

田嶋直哉. はじめの一步. 魚沼地域小児科医の集い, 口頭, 新潟, 2018/11/7.

鈴木 博、小澤淳一、渡辺健一、馬場恵史. Long QT syndrome type 8 の多様性: 当院で経験した 2 例. 第 23 回日本小児心電学会学術集会, 口演, 奈良, 2018/11/30-12/1.

山田明日実、井口英幸、田嶋直哉、小嶋絹子、鈴木 博、内山 聖、白井崇準. 無症状の母体から出生し特徴的な皮膚病変を認めた新生児ループスの一例. 第 229 回日本小児科学会新潟地方会, 口演, 新潟, 2018/12/8.

井口英幸、山田明日実、田嶋直哉、内山 聖、小嶋絹子、鈴木 博、佐々木直、長崎啓祐. 鈣質コルチコイド過剰により左室肥大を認めた 21 水酸化酵素欠損症の乳児例. 第 229 回日本小児科学会新潟地方会, 口演, 新潟, 2018/12/8.

研究費 (科学研究費)

和田雅樹: 代表 基盤研究費 (C) 16K09166 新生児蘇生記録システムの開発と応用 2016 - 2018

論文（原著）

Kameyama H, Hashimoto Y, Shimada Y, Yamada S, Yagi R, Tajima Y, Okamura T, Nakano M, Miura K, Nagahashi M, Sakata J, Kobayashi T, Kosugi SI, Wakai T. Small Bowel Obstruction After Ileal Pouch–Anal Anastomosis With a Loop Ileostomy in Patients With Ulcerative Colitis. *Ann Coloproctol* 34 (2): 94–100, 2018.

Muneoka Y, Ichikawa H, Kosugi SI, Hanyu T, Ishikawa T, Kano Y, Shimada Y, Nagahashi M, Sakata J, Kobayashi T, Kameyama H, Akazawa K, Wakai T. Hyperbilirubinemia predicts the infectious complications after esophagectomy for esophageal cancer. *Ann Med Surg* 39: 16–21, 2019.

論文（症例報告）

Kosugi SI, Ichikawa H, Sato Y, Sunami E, Hirano K, Matsuzawa T, Takahashi M. Unusual lymph node metastasis from cancer of the thoracic esophagus. *J Surg Case Rep* 2018 (8): rjy214, 2018.

学会・研究会・講演会

Shin-Ichi Kosugi, Mariko Nemoto, Hiroshi Ichikawa, Yusuke Muneoka, Yosuke Kano, Takaaki Hanyu, Takashi Ishikawa, Toshifumi Wakai. Clinical significance of neoadjuvant chemotherapy in esophageal cancer patients with severe dysphagia. 16th World Congress of the International Society for Diseases of the Esophagus, ポスター, ウィーン（オーストリア）, 2018/9/17.

Hiroshi Ichikawa, Natsuru Sudo, Shin-Ichi Kosugi, Takaaki Hanyu, Takashi Ishikawa, Yosuke Kano, Yusuke Muneoka, Takahiro Otani, Mariko Nemoto, Takeo Bamba, Satoru Nakagawa, Hitoshi Kameyama, Toshifumi Wakai. Clinical utility of ypTNM stage grouping in AJCC 8th edition for Japanese patients with esophageal squamous cell carcinoma. 16th World Congress of the International Society for Diseases of the Esophagus, 口演, ウィーン（オーストリア）, 2018/9/18.

田村博史、島田能史、山田沙季、阿部 馨、田中花菜、小柳英人、堀田真之介、田島陽介、中野麻恵、中野雅人、亀山仁史、三浦宏平、市川 寛、滝沢一泰、羽入隆晃、永橋昌幸、坂田 純、小林 隆、小杉伸一、若井俊文. Stage IV 下部直腸癌における予防的側方リンパ節郭清の意義. 第118回日本外科学会定期学術集会, ポスター, 東京, 2018/4/5.

羽入隆晃、永橋昌幸、市川 寛、石川 卓、小杉伸一、角田知行、須藤 翔、根本万理子、加納陽介、宗岡悠介、中島真人、田島陽介、三浦宏平、廣瀬雄己、油座 築、島田能史、坂田 純、小林 隆、亀山仁史、若井俊文. リン酸化スフィンゴシンキナーゼ1の発現と胃癌の進行についての関連. 第118回日本外科学会定期学術集会, 口演, 東京, 2018/4/5.

亀山仁史、島田能史、坂田 純、須藤 翔、三浦宏平、田島陽介、中野麻恵、角田知行、市川 寛、羽入隆晃、滝沢一泰、中野雅人、永橋昌幸、中島真人、石川 卓、小林 隆、小杉伸一、木村慎二、小山 諭、若井俊文. 消化器手術患者における周術期リハビリテーション介入と地域包括ケアシステム構築に向けた取り組み. 第118回日本外科学会定期学術集会, 口演, 東京, 2018/4/5.

橋本喜文、島田能史、岡村拓磨、田島陽介、中野雅人、亀山仁史、中野麻恵、堀田真之介、小柳英人、田中花菜、阿部 馨、山田沙季、三浦宏平、市川 寛、羽入隆晃、滝沢一泰、永橋昌幸、坂田 純、小林 隆、小杉伸一、若井俊文. 進行大腸癌の発育先進部における間質線維化反応の臨床的意義. 第118回日本外科学会定期学術集会, ポスター, 東京, 2018/4/5.

島田能史、亀山仁史、永橋昌幸、市川 寛、田島陽介、中野雅人、坂田 純、小林 隆、瀧井康公、小杉伸一、若井俊文. 包括的がん遺伝子変異解析からみた右側大腸癌と左側大腸癌の分子生物学的特徴. 第118回日本外科学会定期学術集会, 口演, 東京, 2018/4/5.

小柳英人、島田能史、田島陽介、三浦要平、山田沙季、阿部 馨、田中花菜、堀田真之介、中野麻恵、中野雅人、亀山仁史、市川 寛、羽入隆晃、滝沢一泰、永橋昌幸、小林 隆、坂田 純、小杉伸一、若井俊文. Stage I-III 大腸癌における SMAD4 遺伝子変異の臨床病理学的特徴及びその意義. 第 118 回日本外科学会定期学術集会, ポスター, 東京, 2018/4/6.

島田能史、若井俊文、田島陽介、市川 寛、永橋昌幸、羽入隆晃、三浦宏平、滝沢一泰、中野雅人、中島真人、坂田 純、小林 隆、小杉伸一、亀山仁史. Surgical treatment strategy for multiple liver metastases of colorectal cancer in pharmacogenomics era. 第 118 回日本外科学会定期学術集会, 口演, 東京, 2018/4/6.

須藤 翔、市川 寛、石川 卓、根本万理子、宗岡悠介、加納陽介、三浦宏平、角田知行、羽入隆晃、島田能史、永橋昌幸、坂田 純、小林 隆、亀山仁史、小杉伸一、若井俊文. 食道癌術後肺炎に対する早期気管吸引痰培養の有用性. 第 118 回日本外科学会定期学術集会, ポスター, 東京, 2018/4/6.

中野雅人、島田能史、田島陽介、山田沙季、田中花菜、堀田真之介、中野麻恵、亀山仁史、市川 寛、永橋昌幸、坂田 純、小林 隆、小杉伸一、野上 仁、丸山 聡、瀧井康公、若井俊文. 直腸 S 状部癌は左側結腸癌として取扱うべきか、それとも直腸癌として取扱うべきか. 第 118 回日本外科学会定期学術集会, 口演, 東京, 2018/4/6.

堀田真之介、島田能史、中野麻恵、小柳英人、山田紗季、阿部 馨、田中花菜、田島陽介、中野雅人、亀山仁史、市川 寛、三浦宏平、羽入隆晃、滝沢一泰、永橋昌幸、坂田 純、小林 隆、小杉伸一、若井俊文. 潰瘍性大腸炎に合併した下部直腸癌の臨床病理学的特徴および術後成績. 第 118 回日本外科学会定期学術集会, ポスター, 東京, 2018/4/6.

田中花菜、島田能史、中野麻恵、田島陽介、中野雅人、亀山仁史、山田沙季、阿部 馨、小柳英人、堀田真之介、三浦宏平、市川 寛、羽入隆晃、滝沢一泰、永橋昌幸、坂田 純、小林 隆、小杉伸一、西野幸治、榎本隆之、若井俊文. 卵巣癌直腸浸潤における直腸間膜リンパ節転移は術後肝転移と関連する. 第 118 回日本外科学会定期学術集会, ポスター, 東京, 2018/4/6.

田島陽介、島田能史、小柳英人、八木亮磨、永橋昌幸、市川 寛、山田沙季、堀田真之介、中野麻恵、中野雅人、亀山仁史、坂田 純、小林 隆、瀧井康公、小杉伸一、若井俊文. Stage II/III 大腸癌における PTEN および PIK3CA 変異の臨床的意義の検討. 第 118 回日本外科学会定期学術集会, 口演, 東京, 2018/4/7.

島田能史、田島陽介、永橋昌幸、市川 寛、八木亮磨、中野雅人、亀山仁史、石川 卓、坂田 純、小林 隆、瀧井康公、小杉伸一、若井俊文. Stage IV 大腸癌における原発巣の局在のバイオマーカーとしての有用性. 第 118 回日本外科学会定期学術集会, 口演, 東京, 2018/4/7.

根本万理子、市川 寛、小杉伸一、石川 卓、羽入隆晃、角田知行、佐藤 優、須藤 翔、臼井賢司、加納陽介、宗岡悠介、大溪隆弘、酒井 剛、永橋昌幸、坂田 純、小林 隆、亀山仁史、若井俊文. 経口摂取困難な食道癌に対する術前化学療法の意義. 第 118 回日本外科学会定期学術集会, ポスター, 東京, 2018/4/7.

山田沙季、島田能史、田島陽介、堀田真之介、阿部 馨、田中花菜、小柳英人、中野麻恵、中野雅人、亀山仁史、三浦宏平、市川 寛、羽入隆晃、滝沢一泰、永橋昌幸、坂田 純、小林 隆、小杉伸一、若井俊文. 術前 CT リンパ節径は結腸癌 Hypermutation subtype の予測に有用である. 第 118 回日本外科学会定期学術集会, ポスター, 東京, 2018/4/7.

角南栄二、小杉伸一、平野謙一郎、佐藤 洋. 当科での RI 法および ICG 蛍光法併用センチネルリンパ節生検同定法について. 第 26 回日本乳癌学会学術集会, ポスター, 京都, 2018/5/17.

小杉伸一、市川 寛、佐藤 洋、平野謙一郎、角南栄二、松澤岳晃、高橋元子. 胸部食道癌から僧帽筋内側のリンパ節に転移した 3 例. 第 72 回日本食道学会学術集会, ポスター, 宇都宮, 2018/6/29.

市川 寛、小杉伸一、真柄 仁、白石 成、羽入隆晃、根本万理子、石川 卓、亀山仁史、井上 誠、若井俊文. 当院における食道癌周術期摂食嚥下スクリーニング検査と摂食嚥下訓練. 第 72 回日本食道学会学術集会, ポスター, 宇都宮, 2018/6/29.

大溪隆弘、市川 寛、小杉伸一、須藤 翔、羽入隆晃、石川 卓、坂田 純、小林 隆、亀山仁史、若井俊文. 食道癌術後乳び胸発症例の臨床病理学的特徴. 第 73 回日本消化器外科学会総会, ポスター, 鹿児島, 2018/7/13.

須藤 翔、市川 寛、小杉伸一、羽入隆晃、石川 卓、番場竹生、中川 悟、藪崎 裕、坂田 純、若井俊文. 食道扁平上皮癌術前化学療法施行例における AJCC 第 8 版 ypTNM Stage の臨床的意義. 第 73 回日本消化器外科学会総会, ポスター, 鹿児島, 2018/7/13.

羽入隆晃、市川 寛、石川 卓、小杉伸一、須藤 翔、大溪隆弘、坂田 純、小林 隆、亀山仁史、若井俊文. 噴門側胃切除後患者における再建方法についての検討. 第 73 回日本消化器外科学会総会, 口演, 鹿児島, 2018/7/13.

佐藤 洋、小杉伸一、平野謙一郎、角南栄二、高橋元子. 開腹汚染創に対する局所陰圧閉鎖療法を用いた手術部位感染予防. 第 26 回日本消化器関連学会週間, ポスター, 神戸, 2018/11/2.

角南栄二、小杉伸一、平野謙一郎、佐藤 洋. 進行・再発乳癌に対し, 当科で施行した Bevacizumab+Paclitaxel 療法の検討. 第 80 回日本臨床外科学会総会, 口演, 東京, 2018/11/23.

佐藤 洋、西山 勉. 腹腔鏡下前立腺全摘時に両側 TAPP 法を併施した 1 例. 第 31 回日本内視鏡外科学会総会, 口演, 福岡, 2018/12/8.

平野謙一郎、恩田佳代子、太田実加子、山岸宏和、篠原未来. 中下部咽頭癌による食道閉塞症例に対する完全腹腔鏡下胃瘻造設の経験. 第 34 回日本静脈経腸栄養学会学術集会, 口演, 東京, 2019/2/14.

小杉伸一、佐藤 洋、角南栄二、平野謙一郎. Early recurrence in the remnant stomach after proximal gastrectomy. 第 91 回日本胃癌学会総会, ポスター, 静岡, 2019/2/28.

研究費 (科学研究費)

小杉伸一: 代表 基盤研究 (C) 17K00813 消化器外科手術後の包括的嚥下機能評価に関する研究. 2017 - 2019

小杉伸一: 分担 基盤研究 (C) 16K10491 食道癌のリンパ行性進展に関与する脂質メディエーター分子機構の解明および臨床的意義. 2016 - 2018

小杉伸一: 分担 基盤研究 (C) 17K10579 胃癌におけるアクチビン受容体変異による新規シグナル伝達機構の解明及び臨床的意義. 2017 - 2019

小杉伸一: 分担 基盤研究 (C) 17K10580 胃癌における BRCA1/2 遺伝子変異解析及びタンパク質発現とその臨床的意義. 2017 - 2019

小杉伸一: 分担 基盤研究 (C) 18K08698 胃癌 DNA 二重鎖損傷修復機構破綻の包括的評価と臨床的意義の解明. 2018 - 2020

論文 (原著)

Katsumi K, Hirano T et al. Natural history of the ossification of cervical posterior longitudinal ligament: a three dimensional analysis. *Int Orthop* 42 (4): 835-842, 2018.

勝見敬一、平野 徹 ほか. 【脊柱靱帯骨化症研究の進歩】画像診断 脊柱靱帯骨化巣の三次元画像解析. *臨床雑誌整形外科* 69 (6): 539-545, 2018.

Watanabe K, Ohashi M, Hirano T, Katsumi K, Shoji H, Mizouchi T, Endo N, Hasegawa K. The influence of lumbar muscle volume on curve progression after skeletal maturity in patients with adolescent idiopathic scoliosis. *Spine Deform* 6 (6): 691-698, 2018.

Katsumi K, Hirano T et al. Perioperative factors associated with favorable outcomes of posterior decompression and instrumented fusion for cervical ossification of the posterior longitudinal ligament: a retrospective multicenter study. *J Clin Neurosci* 57: 74-78, 2018.

Ohashi M, Watanabe K, Hirano T, Hasegawa K, Katsumi K, Shoji H, Mizouchi T, Endo N. Predicting factors at skeletal maturity for curve progression and low back pain in adult patients treated nonoperatively for adolescent idiopathic scoliosis with thoracolumbar/lumbar curves. *Spine* 43 (23): E1403-1411, 2018.

植木将人、森谷浩治、吉津孝衛 他. 12 歳以下の進行期上腕骨小頭離断性骨軟骨炎に対する上腕骨外側顆状骨切り術の中・長期成績. *日手会誌* 35 (2): 212-216, 2018.

Ogose A, Kawashima H, Hatano H, Ariizumi T, Sasaki T, Yamagishi T, Oike N, Inagawa S, Endo N. The natural history of incidental retroperitoneal schwannomas. *PLoS One* 14 (4): e0215336, 2019.

Ohashi M, Watanabe K, Hirano T, Hasegawa K, Katsumi K, Shoji H, Mizouchi T, Takahashi I, Endo N. The natural course of compensatory lumbar curves in nonoperated patients with thoracic adolescent idiopathic scoliosis. *Spine* 44 (2): E89-98, 2019.

Koike H, Nishida Y, Kohno K, Shimoyama Y, Motoi T, Hamada S, Kawai A, Ogose A, Ozaki T, Kunisada T, Matsumoto Y, Mastunobu T, Ae K, Gokita T, Sakai T, Shimizu K, Ishiguro N. Is immunohistochemical staining for beta-catenin a definitive pathological diagnostic tool for desmoid-type fibromatosis? *Hum Pathol* 84: 155-163, 2019.

Kawashima H, Ariizumi T, Yamagishi T, Ogose A, Ikoma M, Hotta T, Endo N. Symptomatic burden and end-of-life palliative treatments during the last two weeks of life in patients with advanced musculoskeletal sarcoma. *J Palliat Med* epub ahead of print, 2019.

Watanabe K, Katsumi K et al. Surgical outcomes of spinal fusion for osteoporotic thoracolumbar vertebral fractures in patients with Parkinson's disease. *BMC musculoskelet Disord* 20 (1): 103, 2019.

坂爪佑輔、白旗正幸、目良 恒、勝見敬一、植木将人、依田拓也、牧野達夫、生越 章. 大腿骨近位部骨折手術例における内服薬使用の状況. *東北整災誌* 62: 37-41, 2018.

論文（症例報告）

牧野達夫、勝見敬一、依田拓也、目良 恒、白旗正幸、生越 章。脊椎関節炎による強直性頸椎に生じた横断性骨折に対する後方固定術の経験。新潟整外研会誌 34: 37-42, 2018.

坂爪佑輔、有泉高志、川島寛之、捧 陽介、生越 章、遠藤直人。腓骨神経麻痺をきたした多発性軟骨性外骨腫症の1例。新潟整外研会誌 33: 77-82, 2017（補遺）。

学会・研究会・講演会

Hisashi Mera, Osamu Ishibashi, Shigeyuki Wakitani. Identification of micro-RNA associated with the chondrogenic ability of human bone marrow mesenchymal stem cells. 5th TERMIS World Congress 2018, poster, Kyoto, 2018/9/4-7.

植木将人 他 Effect of radial head hypertrophy on clinical outcomes after distal humeral closed-wedge osteotomy for osteochondritis dissecans of the capitellum. 第73回 ASSH, ポスター, Boston (米国), 2018/9/13-15.

白旗正幸 他。飲酒後の腕相撲大会において発生した上腕骨骨折の3例。第115回東北整形災害外科学会, 口演, 弘前, 2018/4/27-28.

生越 章、坂爪佑輔、白旗正幸、目良 恒、植木将人、牧野達夫、勝見敬一。神経ブロックを用いた下肢腫瘍手術の経験。第115回東北整形災害外科学会, 口演, 弘前, 2018/4/27-28.

生越 章。骨軟部腫瘍の自然史の解析。第91回日本整形外科学会総会, 教育研修講演, 神戸, 2018/5/24-27.

目良 恒、坂爪祐輔。10代陸上選手に生じた上前腸骨棘剥離骨折に対し suture bridge による骨接合を行った1例。JOSKAS 2018, e-poster, 福岡, 2018/6/14-16.

目良 恒、谷藤 理、望月友晴、遠藤直人。初期変形性膝関節症患者の関節水腫に対する保存治療の有効性と患者背景の検討。JOSKAS 2018, e-poster, 福岡, 2018/6/14-16.

目良 恒。関節軟骨治療におけるトランスレーショナルリサーチの経験。第17回新潟骨・関節フォーラム, 口演, 新潟, 2018/6/28.

目良 恒。関節軟骨治療の研究開発について。京都創薬社内講演会, 講演, 京都, 2018/6/29.

生越 章、川島寛之、有泉高志、山岸哲郎、堀田哲夫、大池直樹、畠野宏史、佐々木太郎、遠藤直人。後腹膜神経鞘腫の自然史の解析。第51回日本整形外科学会骨軟部腫瘍学術集会, 口演, 静岡, 2018/7/12-13.

目良 恒。魚沼エリアからみる変形性膝関節症の実態と治療。塩野義製薬社内研修会, 講演, 南魚沼, 2018/8/8.

生越 章。骨軟部腫瘍診療の基本—こうすれば間違わない、うまくとれる—。長岡手術手技研究会, 教育研修講演, 長岡, 2018/10/25.

生越 章。体の痛みに対して整形外科ができること。魚沼基幹病院市民公開講座, 口演, 南魚沼, 2018/10/28.

白旗正幸 他。距骨頸部脱臼骨折の2例。第43回日本足の外科学会学術集会, 口演, 木更津, 2018/11/1.

生越 章。骨と関節をきたえて元気に生きよう。三好園後援会設立三〇周年記念講演会, 住民講演会, 十日町, 2018/12/1.

白旗正幸 他. 手関節背側部 heat press injury 後 10 年余りを経て発生した長母指伸筋腱皮下断裂の 1 例. 第 33 回東日本手外科研究会, 口演, 新潟, 2019/2/2.

植木将人 他. 背側転位型橈骨遠位端骨折の重症度と骨密度および骨質マーカーの関係. 第 33 回東日本手外科研究会, 口演, 新潟, 2019/2/2.

Hisashi Mera, Osamu Ishibashi, Naoki Oike, Osamu Tanifuji, Tomoharu Mochizuki, Yasuyuki Tomiyama, Shigeyuki Wakitani. Analysis of micro-RNA associated with the proliferative and chondrogenic abilities of human bone marrow mesenchymal stem cells. 第 32 回日本軟骨代謝学会, 口演, 大阪, 2019/3/1-2.

目良 恒、藤田 裕、久保田解、植木将人、若杉正嗣、勝見敬一、白旗正幸、生越 章. 当院で行った高位脛骨骨切り術における膝関節機能の術後経過. 第 236 回新潟整形外科研究会, 口演, 新潟, 2019/3/2.

生越 章. 腫瘍の診断・手術・化学療法における医療安全と医療倫理. 第 41 回静岡骨軟部腫瘍研究会, 教育研修講演, 三島, 2019/3/2.

生越 章. 新規開院した地域一般病院における整形外科医の腫瘍との関わり. 第 29 回三河骨軟部腫瘍研究会, 教育研修講演, 岡崎, 2019/3/7.

目良 恒、石橋 幸、大池直樹、谷藤 理、望月友晴、富山泰行、脇谷滋之. 骨髄間葉系細胞における軟骨分化能に関するマイクロ RNA の検討. 第 18 回日本再生医療学会総会, ポスター, 神戸, 2019/3/21-23.

生越 章、川島寛之、有泉高志、山岸哲郎、大池直樹. 骨外性粘液型軟骨肉腫の自然死の解析. 第 2 回日本サルコーマ治療研究学会, ポスター, 東京, 2018/2/22-23 (補遺).

生越 章、川島寛之、有泉高志、山岸哲郎、大池直樹. 周囲 2 重結紮法を用いたびまん性神経鞘腫に対する手術療法. 第 10 回日本レックリングハウゼン病学会学術大会, 口演, 名古屋, 2018/3/24 (補遺).

研究費 (科学研究費)

目良 恒: 代表 基盤研究 (C) 18K09021 関節軟骨修復に寄与するマイクロ RNA の探索. 2018 - 2020

生越 章: 代表 基盤研究 (C) 18K09098 骨軟部腫瘍に対数する免疫治療の開発. 2018 - 2020

勝見敬一: 代表 若手研究 18K16612 3次元画像解析による脊柱靭帯骨化症の骨化進展: 骨代謝動態を含めた包括的解析
2018 - 2021

論文（症例報告）

Kasuya C, Suzuki M, Koda Y, Sato H, Kashima K, Honda K, Kazama Y, Akiyama K, Seki Y, Yoneoka Y. A headache-free reversible cerebral vasoconstriction syndrome (RCVS) with symptomatic brain stem ischemia at late pregnancy as a rare manifestation of RCVS resolved with termination of pregnancy by semi-urgent cesarean section. *Oxf Med Case Reports*. 2018 (12): doi:10.1093/omcr/omy101, 2018.

Yoneoka Y, Ikeda R, Aizawa N, Seki Y, Akiyama K. Medial pontomedullary junctional infarction presenting vertigo, ipsilateral facial paresis, contralateral thermal hypoalgesia and dysphagia without lateral gaze palsy, curtain sign and hoarseness: a case presentation of a novel brain stem stroke syndrome with sensory disturbance-based dysphagia and review of the literature. *Oxf Med Case Reports*. 2019 (1): doi:10.1093/omcr/omy121, 2019.

学会・研究会・講演会

米岡有一郎、藤井幸彦. 小児における硬膜縫合を用いない比較的簡便な鞍底形成法. 第 27 回脳神経外科手術と機器学会, 口演, 奈良, 2018/4/13-14.

米岡有一郎、藤井幸彦. 内視鏡下経蝶形骨洞下垂体腺腫摘出後の下垂体前葉機能回復. 第 91 回日本内分泌学会学術総会, 口演, 宮崎, 2018/4/26-28.

米岡有一郎、藤井幸彦. 小児における硬膜縫合を用いない比較的簡便な鞍底形成法. 第 46 回日本小児神経外科学会, 口演, 東京, 2018/6/8-9.

米岡有一郎、関 泰弘、秋山克彦. 眩暈と脳梗塞. 第 32 回上中越臨床神経疾患研究会, 口演, 長岡, 2018/6/13.

米岡有一郎、関 泰弘、秋山克彦、小原伸雅、小松 健. 地域医療における先端巨大症の診断過程の一例. 第 107 回新潟内分泌代謝同好会, 口演, 新潟市, 2018/6/16.

米岡有一郎、関 泰弘、秋山克彦. 予期せぬ術中出血—2 例の供覧から—. 第 75 回新潟脳卒中研究会, 口演, 新潟市, 2018/6/23.

米岡有一郎、関 泰弘、秋山克彦. 地域医療における下垂体腺腫の診断と外科治療の実際—症例提示からの問題提起—. 第 23 回日本脳腫瘍の外科学会, 口演, 和歌山, 2018/9/14-15.

米岡有一郎、関 泰弘、秋山克彦. 地域医療における下垂体腺腫の診断と外科治療の実際. 第 77 回日本脳神経外科学会学術総会, 口演, 仙台, 2018/10/10-12.

大口陽子、桑原貴之、大津裕樹、関 悟、米岡有一郎. 急性期脳卒中離床基準の作成と運用成果. 第 2 回日本リハビリテーション医学会秋季学術集会, ポスター, 仙台, 2018/11/2-4.

米岡有一郎、関 泰弘、秋山克彦、谷 卓、寺島健史、小澤鉄太郎. 外傷後の全身倦怠で発症した脳梗塞の真の原因. 第 33 回上中越臨床神経疾患研究会, 口演, 長岡, 2018/11/7.

米岡有一郎、関 泰弘、秋山克彦、小原伸雅、小松 健. ソマトスタチンアナログ治療を選択するも副作用により断念し、手術により良好な治療経過を得た先端巨大症例. 第 108 回新潟内分泌代謝同好会, 口演, 新潟市, 2018/12/1.

米岡有一郎、藤井幸彦. 経鼻内視鏡下頭蓋咽頭腫摘出術における下垂体・下垂体柄温存. 第 29 回日本間脳下垂体腫瘍学会, 口演, 大阪, 2019/2/22-23.

論文（原著）

Fujiwara H, Isogai Z, Irisawa et al. Wound, pressure ulcer and burn guidelines - 2: Guidelines for the diagnosis and treatment of pressure ulcers, second edition. J Dermatol epub ahead, 2018.

論文（総説）

藤原 浩. ポリウレタンフィルム. Visual Dermatol 17 (7): 630-631, 2018.

藤原 浩. 深い褥瘡に対する外用薬と創傷被覆材の使い方 赤色期や白色期に対する使い方. WOC Nursing 6 (9): 78-84, 2018.

藤原 浩. 在宅患者の褥瘡管理. 新潟市医師会報: 2018.

藤原 浩. 褥瘡治療ガイドライン. 日本臨床皮膚科医会雑誌 35 (6): 854-858, 2018.

論文（症例報告）

Arimatsu A, Tomii K, Fujiwara H, Hasegawa G, Shigehara Y, Tachibana T. Photodynamic therapy can prevent recurrence of lymphomatoid papulosis. Photodiagnosis and Photodynamic Therapy 25: 334-335, 2019.

著書

藤原 浩ほか. 褥瘡診療ガイドライン. 創傷・褥瘡・熱傷ガイドライン2018 金原出版: 43-128, 2018.

藤原 浩. 褥瘡治療の最新情報. たった20のトピックスで学べる! 創傷・スキンケアの新常識 学研メディカル秀潤社: 8-10, 2018.

藤原 浩. 褥瘡診療ガイドラインの検証. 皮膚疾患最新の治療2019-2020 南江堂: 5-8, 2019.

学会・研究会・講演会

藤原 浩. 褥瘡治療ガイドライン. 第34回日本臨床皮膚科医会総会・臨床学術大会, 講演, 仙台, 2018/4/29.

石渡彩乃、河合 亨、藤原 浩、和田雅樹、長谷川剛. 多発性副耳を伴った腮弓症候群の1例. 第390回日本皮膚科学会新潟地方会, 講演, 新潟, 2018/6/30.

石渡彩乃、河合 亨、藤原 浩、長谷川剛、橘 敏明. 断頭分泌様構造を認めた sweat gland carcinoma in situ の1例. 第391回日本皮膚科学会新潟地方会, 講演, 新潟, 2018/9/29.

石渡彩乃、河合 亨、藤原 浩、長谷川剛、須田剛士. 自己免疫性肝炎を合併した皮膚ムチン沈着症の1例. 第107回膠原病研究会, 講演, 新潟, 2018/11/6.

石渡彩乃、河合 亨、藤原 浩、長谷川剛、須田剛士、増井由紀子、橘 敏明. 自己免疫性肝炎を合併した皮膚ムチン沈着症の1例. 第392回日本皮膚科学会新潟地方会, 講演, 新潟, 2018/12/8.

加畑雄大、重原庸哉、新熊 悟、阿部理一郎、入月浩美、藤原 浩. 先天性魚鱗癬を伴った2型 Gaucher 病の1例. 第392回日本皮膚科学会新潟地方会, 講演, 新潟, 2018/12/8.

石渡彩乃、河合 亨、藤原 浩、長谷川剛. Low-grade fibromyxoid sarcoma の 1 例. 第 393 回日本皮膚科学会新潟地方会, 講演, 新潟, 2019/3/9.

論文（症例報告）

Murata M, Inui K, Ikeda Y, Hasegawa G, Nakagawa Y, Nishiyama T, Tomita Y. Retroperitoneal extragonadal seminoma developed with acute lower inferior vena cava syndrome: A case report. Urol Case Rep 20: 72-74, 2018.

Inui K, Murata M, Nakagawa Y, Ikeda Y, Nishiyama T, Tomita Y. Unicentric Castleman's disease located between the aorta and inferior vena cava: A case report. J Endourol Case Rep 5 (1): 10-12, 2019.

論文 (原著)

Suzuki R, Aizawa N, Wada M, Suzuki H, Saitoh A. Pharyngolaryngeal edema in mumps virus infection: Rare complication. *Pediatr Int* 60 (5): 493-494, 2018.

Takahashi N, Mori K, Baba H, Sasaki T, Ohno M, Ikarashi F, Aizawa N, Sato K, Tsuchiya A, Hanazawa H, Tomita M, Kubota Y, Morita Y, Takahashi K, Horii A. Reliability and validity of the Japanese version of the Glasgow Edinburgh Throat Scale (GETS-J): Use for a symptom scale of globus sensation. *Auris Nasus Larynx* 45 (5): 1041-1046, 2018.

相澤直孝. 成人 OSA において CPAP は本当に第一選択なのか?: Pros. CPAP は成人睡眠関連呼吸障害治療の第一選択である. *口腔・咽頭科* 31 (1): 21-26, 2018.

学会・研究会・講演会

相澤直孝. 小児睡眠呼吸障害における手術症例の検討. 第 31 回日本口腔・咽頭科学会, 一般講演, 名古屋, 2018/9/13-14.

相澤直孝. 当科における顎下腺唾石摘出術の検討. 第 31 回日本口腔・咽頭科学会, 一般講演, 名古屋, 2018/9/13-14.

研究費 (科学研究費)

相澤直孝: 代表 基盤研究 (C) 15K10803 カテゴリ一知覚を用いた聴覚時間分解能検査器の開発. 2015 - 2018

相澤直孝: 分担 基盤研究 (C) 17K00813 消化器外科手術後の包括的嚥下機能評価に関する研究. 2017 - 2019

論文（症例報告）

春谷千智、鈴木美奈、甲田有嘉子、佐藤ひとみ、加嶋克則、本多啓輔、風間芳樹．妊娠 39 週に脳血管攣縮を発症した高血圧合併妊娠の一例．新潟産科婦人科学会 会誌 113 (1)：1-4, 2018.

Kasuya C, Suzuki M, Koda Y, Sato H, Kashima K, Honda K, Kazama Y, Akiyama K, Seki Y, Yoneoka Y. A headache-free reversible cerebral vasoconstriction syndrome (RCVS) with symptomatic brain stem ischemia at late pregnancy as a rare manifestation of RCVS resolved with termination of pregnancy by semi-urgent cesarean section. *Oxf Med Case Reports* 429-433, 2018.

須藤優子、加嶋克則、関塚智之、甲田有嘉子、佐藤ひとみ、鈴木美奈、本多啓輔、風間芳樹．診断に難渋した子宮体部扁平上皮癌の一例．新潟産科婦人科学会 会誌 113 (2)：49-52, 2018.

学会・研究会・講演会

加嶋克則．婦人科内視鏡技術認定医までの道のり．第 6 回新潟婦人科内視鏡手術セミナー，口演，新潟，2018/7/1.

本多啓輔、風間芳樹．妊娠中の付属器手術．第 59 回母性衛生学会総会・学術集会，口演，新潟，2018/10/19.

長谷川順紀．帝王切開瘢痕部妊娠の治療．第 114 回魚沼産婦人科医会，口演，新潟，2018/11/16.

長谷川順紀．妊娠中の卵管捻転．第 115 回魚沼産婦人科医会，口演，新潟，2019/3/15.

研究費（科学研究費）

加嶋克則：代表 基盤研究 (C) 16K11132 進化論モデルを用いた内膜症から卵巣類内膜癌への進展メカニズムの解明．2016 - 2018

本多啓輔：分担 基盤研究 (C) 17K09197 妊娠高血圧症候群の発症予防を目的とした解毒酵素遺伝子と嗜好品摂取との相互作用解析．2017 - 2019

学会・研究会・講演会

Kawaguchi G, Umetsu O, Tanabe S, Utsunomiya S, Sasage T, Kuwabara R, Kuribayashi T, Takatou H, Aoyama H. Image verification accuracy of a novel patient positioning system with four X-ray tubes and flat panel detectors in first clinical use of the world. ASTRO 60th Annual Meeting, ポスター, San Antonio (米国), 2018/10/21-24.

川口 弦. 魚沼基幹病院の放射線治療-最新型機器のご紹介. 魚沼基幹病院市民公開講座, 口演, 南魚沼, 2018/10/28.

川口 弦、捧 俊和. 魚沼基幹病院放射線治療科の紹介. 第26回新潟放射線治療研究会, 口演, 新潟, 2019/1/26.

研究費 (科学研究費)

川口 弦: 代表 若手研究 18K15626 革新的動体追跡放射線治療に向けたクリップマーカの開発および臨床応用. 2018 - 2021

論文（総説）

古谷健太. 術前内服薬はそれでいいのか？抗うつ薬、抗パーキンソン病薬、認知症関連薬. *LiSA* 25 (6): 676-680, 2018.

古谷健太. 局所麻酔薬の隠れたチカラ プピバカインはグルタミン酸受容体を抑制する. *LiSA* 2018 年別冊秋号 25: 149-154, 2018.

古谷健太, 佐々木美佳, 紙谷義孝, 馬場 洋. リドカイン静脈内投与によって生じる鎮痛機序の解明. *新潟県医師会報* 825: 8-9, 2018.

論文（症例報告）

Furutani K, Matsuhashi M, Deguchi H, Mitsuma Y, Ohashi N, Baba H. Marked attenuation of the amplitude of transcranial motor-evoked potentials after intravenous bolus administration of ketamine: a case report. *J Med Case Rep* 12: 204, 2018.

著書

古谷健太. 5章 鎮静とモニター. *日めくり麻酔科エビデンスアップデート2* 克誠堂: 49-59, 2018.

古谷健太. 各論Ⅲ 鎮静中の急変対応の注意点. *鎮静ポケットマニュアル* 中外医学社: 161-170, 2018.

学会・研究会・講演会

Kenta Furutani, Hiroyuki Deguchi, Yusuke Mitsuma, Hiroshi Baba. Bolus administration of ketamine reduced the amplitude of transcranial electrical motor evoked potential: a randomized controlled trial. annual meeting of the American society of anesthesiologists, オーラル, San Francisco (米国), 2018/10/16.

古谷健太, 出口浩之, 松橋麻里, 三ツ間祐介, 馬場 洋. ケタミンのボラス投与は運動誘発電位の振幅を減少させる（無作為化比較試験）. 日本麻酔科学会第 65 回学術集会, ポスターディスカッション, 横浜市, 2018/5/17.

出口浩之, 古谷健太, 三ツ間祐介, 馬場 洋. 低用量ドロペリドールの運動誘発電位に対する影響についての後方視的検討. 日本麻酔科学会第 65 回学術集会, ポスター, 横浜市, 2018/5/17.

古谷健太, 喜多学之. 反復した気管チューブのインフレーションチューブ切断. 第 14 回日本医学シミュレーション学会学術集会, オーラル, 高槻市, 2019/1/12.

三ツ間祐介, 古谷健太, 出口浩之. 術中 MEP モニタリングでは検出されなかった術後対麻痺. 第 23 回日本神経麻酔集中治療学会, ポスター, 奈良市, 2019/3/16.

古谷健太, 出口浩之, 遠藤義幸, 三ツ間祐介, 喜多学之. 神経ナビゲーションシステムによるパルスオキシメーターへの干渉を酒精綿の外袋で解決できた 2 症例. 第 23 回日本神経麻酔集中治療学会, ポスター, 奈良市, 2019/3/16.

研究費（科学研究費）

古谷健太: 代表 基盤研究 (C) 18K08810 ケタミンが脊髄伝導路および脊髄シナプス伝達に及ぼす作用に関する基礎および臨床研究. 2018 - 2020

学会・研究会・講演会

山口征吾、看取りについて。看取りケア研修会，講演，南魚沼，2018/9/14.

山口征吾、それでいいの？救急外来。TMM 講習会，講演，魚沼，2018/10/13.

大橋さとみ、ランジオロールが著効したカフェイン中毒の 1 例。魚沼循環管理セミナー，講演，南魚沼，2018/10/18.

山口征吾、雪下ろし転落によるケガ。雪下ろし転落外傷防止講演会，講演，十日町，2018/10/27.

山口征吾、大橋さとみ、関口博史、当院における屋根の雪下ろし転落外傷の 2 シーズンの実態と対策。第 46 回日本救急医学会総会，口演，横浜，2018/11/20.

学会・研究会・講演会

齋藤太郎、西川 敦、黒川 亮、加藤祐介、飯田明彦、山賀雅裕、加納浩之、高田佳之、西山秀昌、高木律男. 抜歯による薬剤関連顎骨壊死発生のリスク評価—多施設共同後ろ向き研究—. 第 63 回日本口腔外科学会総会, ポスター, 千葉, 2018/11/2-4.

須田大亮、竹内玄太郎、丸山 智、小林正治、加納浩之. 広範な口腔潰瘍を契機に診断に至った多発血管炎性肉芽腫症の一例. 第 63 回日本口腔外科学会総会, 口演, 千葉, 2018/11/2-4.

論文（原著）

寺島健史，医療の質と安全の向上のための診療情報管理士の役割 院内全診断報告書の一括管理と開封督促による未読インシデント防止のための取り組み，診療情報管理 30（2）：102-103，2018.

学会・研究会・講演会

寺島健史，院内全診断報告書の一括管理と開封督促による未読インシデント防止のための取り組み，第 44 回診療情報管理学会学術大会，シンポジウム，新潟，2018/9/21.

学会・研究会・講演会

高野久美子、魚沼基幹病院救命救急センター開院に伴う救命救急士の救急活動の変化と思い。第 74 回新潟救急医学会，口演，新潟，2018/7/7.

和田真理、桑原ゆかり、田中結衣、鈴木雄基。当院の内視鏡看護記録方法の検討と運用。第 53 回新潟地区消化器内視鏡技師研究会，口演，新潟，2018/9/22.

林千代子、今井直美、星 泰子、須田侑梨香。地域内看護教育ネットワークの設立と活動報告。第 57 回全国自治体病院学会，口演，郡山，2018/10/19.

樋口浩美。産科混合病棟を考える『地域中核病院の現状と課題』。第 59 回日本母性衛生学会シンポジウム，講演，新潟，2018/10/20.

小川るり子。注射部位反応のマネジメント。ゴナックス® 新潟エリアナースセミナー，講師，新潟，2019/1/26.

小川るり子。注射部位反応のマネジメント。ゴナックス® 新潟エリアナースセミナー，講師，長岡，2019/3/2.

星 洋子、古藤千佳子、渡辺真由美、久保田治幸、樋口 充。開院 4 年目の PNS 発展を目指して～PNS 役割別研修導入による教育体制の整備～。第 6 回 PNS 研究会「新人看護師の自立」，口演，福井，2019/3/2-3.

受賞

林千代子、今井直美、星泰子、須田侑梨香。分科会推薦優秀演題 地域内看護教育ネットワークの設立と活動報告。第 57 回全国自治体病院学会，2017 年 10 月.

学会・研究会・講演会

目崎 恵、保健所と協働して行った介護施設における感染予防対策リーダーの養成 ―自律的な活動を目指して―、第 7 回日本感染管理ネットワーク学会学術集会、口述、仙台、2018/5/25-26.

星野 靖、長谷川剛、病理診断報告書の確認忘れ対策の検討 ―病理診断結果の説明項目を設けたシステムの構築―、第 13 回医療の質・安全学会学術集会、ポスター、名古屋、2018/11/24.

目崎 恵、チームで取り組む環境衛生、第 15 回医療安全/感染管理懇話会、口述、新潟、2018/12/15.

目崎 恵、岩田真子、坂西 清、関 義信、術後感染予防抗菌薬投与開始時間についての実態調査と介入、第 34 回日本環境感染学会学術集会、ワークショップ、神戸、2019/2/22-23.

学会・研究会・講演会

山田宣和、岩田真子、青柳和代、貝瀬真由美。鑑査時ヒヤリハット事例報告の取り組みとその対策について。第28回医療薬学会年会、ポスター、兵庫、2018/11/23-25。

五十嵐詠美、貝瀬真由美。当院における術後硬膜外麻酔の終了理由の調査。第28回医療薬学会年会、ポスター、兵庫、2018/11/23-25。

岩田真子、貝瀬真由美。返品薬の再利用・廃棄状況の分析と今後の取り組み。第28回医療薬学会年会、ポスター、兵庫、2018/11/23-25。

岩田真子、目崎 恵、関 義信。当院における抗菌薬適正使用ラウンドの報告。第34回日本環境感染症学会学術集会、ポスター、兵庫、2019/2/22-23。

論文（原著）

Tanabe S, Umetsu O, Sasage I, Utsunomiya S, Kuwabara R, Kuribayashi I, Takatou H, Kawaguchi G, Aoyama H. Clinical commissioning of a new patient positioning system, SyncTraX FX4, for intracranial stereotactic radiotherapy. J Appl Clin Med Phys 19 (6): 149-158, 2018.

学会・研究会・講演会

Sasage I, Tanabe S, Utsunomiya S, Umetsu O, Kuwabara R, Kuribayashi I, Takatou H, Kawaguchi G, Aoyama H. Commissioning of a novel real-time tracking radiotherapy system with four X-ray tubes and flat panel detectors. AAPM 60th Annual Meeting and Exhibition, ポスター, Nashville (米国), 2018/7/29-8/2.

山田尚史. もしのために！災害時アクションカード作成について. 2018年新潟県立病院放射線技術学会, 口述, 上越, 2018/6/16.

松本一則. 全脊椎 CT 撮影における生データを活用した脊椎外病変スクリーニングの有用性. 平成 30 年度関東甲信越診療放射線技師学術大会, 口述, 新潟, 2018/6/30-7/1.

松本一則. その検査に想いをー「志」は検査前から検査後までー. 第 15 回新潟 CT テクノロジー研究会, 講演, 新潟, 2018/7/21.

桑原亮太. 魚沼基幹病院における SyncTraX FX4 の過去・現在・未来. 第 15 回新潟放射線治療技術懇話会, 口演, 新潟, 2018/7/21.

松本一則. 当院 CT 検査における依頼医への疑義照会ならびに画像所見の情報伝達の現状と有用性について. 第 34 回日本診療放射線技師学術大会, 口述, 下関, 2018/9/21-23.

栗林俊輝, 桑原亮太, 梅津 修, 棚邊哲史, 宇都宮悟, 榎 俊和, 高頭浩正. 4 管球 4 検出器型動体追跡放射線治療システムを用いた位置照合における被ばく線量を考慮した至適撮像条件の検討. 第 46 回日本放射線技術学会秋季学術大会, 口演, 仙台, 2018/10/4-6.

榎 俊和, 棚邊哲史, 梅津 修, 宇都宮悟, 桑原亮太, 栗林俊輝, 川口 弦, 高頭浩正, 青山英史. 頭頸部放射線治療における動体追跡システム SyncTraX FX4 を用いた位置精度評価. 日本放射線腫瘍学会第 31 回学術大会, 口演, 京都, 2018/10/11-13.

棚邊哲史, 梅津 修, 榎 俊和, 宇都宮悟, 桑原亮太, 栗林俊輝, 川口 弦, 高頭浩正, 青山英史. 肺定位放射線治療における高線量率動体追跡強度変調回転照射の予備的検討. 日本放射線腫瘍学会第 31 回学術大会, ポスター, 京都, 2018/10/11-13.

松本一則. 既知の造影条件で得られた肝臓 CT 値を用い次回造影条件を決定するための基礎的検討. 第 8 回東北放射線医療学術大会, 口述, 盛岡, 2018/11/3-4.

棚邊哲史. 脳定位放射線治療における Patient QA の意義とピットフォール. 平成 30 年度がん拠点病院放射線治療研修会, 講演, 新潟, 2018/11/9.

國井正之. 当院の Tc 心筋シンチプロトコル. 第 5 回 P-NET 研究討論会, 口述, 新潟, 2018/11/10.

山田尚史. BLS のご紹介. 新潟救急撮影研究会 第 2 回新潟 Q ミーティング, 口述, 長岡, 2018/11/23.

榎 俊和. 魚沼基幹病院における放射線治療の過去・現在・未来. 第 26 回新潟放射線治療研究会, 講演, 新潟, 2019/1/26.

榎 俊和, 棚邊哲史, 梅津 修, 宇都宮悟, 桑原亮太, 栗林俊輝, 川口 弦, 高頭浩正, 青山英史. 動体追跡システム SyncTraX FX4 を用いたカウチ角度による位置照合精度評価. 第 26 回新潟放射線治療研究会, 口演, 新潟, 2019/1/26.

棚邊哲史. SyncTraX の高線量率対応. 第 1 回島津ユーザー会, 講演, 東京, 2019/3/1.

梅津 修、棚邊哲史、捧 俊和、桑原亮太、栗林俊輝、宇都宮悟、高頭浩正、川口 弦、青山英史. 初期導入に伴う 4 管球型動体追跡放射線治療装置の長期安定性評価. 第 32 回高精度放射線外部照射部会学術大会, ポスター, 東京, 2019/3/2.

棚邊哲史、梅津 修、桑原亮太、栗林俊輝、捧 俊和、高頭浩正、川口 弦、宇都宮悟、青山英史. 最大線量率 2,400 MU/min を用いた動体追跡放射線治療に向けた SyncTraX FX4 システムにおける FPD ビニングモードの特性評価. 第 32 回高精度放射線外部照射部会学術大会, ポスター, 東京, 2019/3/2.

棚邊哲史. 画像誘導放射線治療. 第 7 回 JASTRO 放射線治療・物理学セミナー, 講演, 仙台, 2019/3/24.

棚邊哲史. 動体追跡システム SyncTraX FX4 を用いた放射線治療の現状と展望. 第 53 回臨床医学物理研究会, 講演, 東京, 2019/3/30.

松本一則. バックボードを使用した頭部 CT 撮影において非使用時と同等な撮影線量を CT-AEC で設定するための基礎的検討. 第 21 回日本臨床救急医学会総会・学術集会, 口述, 名古屋, 2018/2/1 (補遺).

研究費 (その他)

川口 弦: 島津製作所共同研究費 動体追跡放射線治療における IMRT/VMAT に関する研究. 2018 - 2019

学会・研究会・講演会

笹岡秀之、徳永直樹、柴田真由美。新設病院における日当直業務研修の取り組み。第21回日本臨床救急医学会総会・学術集会、ポスター、名古屋、2018/6/2。

澁谷大輔。Papanicolaou 染色の標準化に向けて 細胞検査士会ヤングコミティワークショップ。第59回日本臨床細胞学会春期大会、ワークショップ、札幌、2018/6/3。

渡邊 萌。当院での FeNO 濃度の測定と実績について。魚沼地域の喘息治療における連携を考える会、講演、新潟、2018/6/14。

小池 敦。地方病院における ISO 15189 認定取得に向けた取り組み。平成30年度全国自治体病院協議会 臨床検査部会研修会、講演、東京、2018/6/29。

坂西 清。中規模病院の技師育成について。平成30年日臨技北日本支部 臨床検査総合部門研修会、講演、新潟、2018/8/25。

瀧澤瑠美、湯本裕美、柳真奈美、渡邊 萌、丸山奈穂、小林弓夏。経過中に一過性の FIRDA を認めた卵巣腫瘍関連免疫介在性脳炎の1症例。第92回新潟県臨床検査学会、口演、新潟、2018/10/28。

澁谷大輔、大野仁子、徳永直樹、阿部美香、井口啓太、小池 敦、長谷川剛。細胞浮遊液を用いた免疫染色の検討。第92回新潟県臨床検査学会、ポスター、新潟、2018/10/28。

坂西 清、高橋周汰、石黒杏佳、小池 敦。同一患者より異なる抗酸菌を検出した1症例。第92回新潟県臨床検査学会、口演、新潟、2018/10/28。

澁谷大輔、大野仁子、徳永直樹、阿部美香、井口啓太、小池 敦、長谷川剛。PAX8 陽性が鑑別診断の端緒となった警部リンパ節穿刺吸引細胞診の1例。第57回日本臨床細胞学会秋期大会、ポスター、横浜、2018/11/17。

小池 敦。ISO 15189 認定取得に向けた取り組み。平成30年度新潟県立病院臨床検査技師長・副技師長会議、講演、新潟、2019/3/8。

柴田真由美。輸血検査における精度管理について。新潟県輸血フォーラム2019、講演、新潟、2019/3/16。

学会・研究会・講演会

渡辺慶大、小林優樹、田村俊暁. 甲状腺中毒性ミオパチーにより重度の嚥下障害を呈した 1 例. 第 6 回新潟県言語聴覚士学会, 口述, 新潟, 2018/6/2.

今井遼太、渡邊 達、大口陽子、大津友樹、廣野 暁. 特異的 PAH 治療薬導入期において運動療法を実施した一症例. 第 24 回日本心臓リハビリテーション学会, ポスター, 神奈川, 2018/7/14-15.

渡辺慶大、今井遼太、田村俊暁. Nasal High Flow 使用下からの直接嚥下訓練により早期に経口摂取へ移行できた 1 例. 第 24 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会, 口述, 仙台, 2018/9/8 - 9.

佐藤将史、八木俊哉、今井遼太、濱崎幸子、大津友樹、若井崇央、中島 蘭、目良 恒、生越 章. 当院外来通院患者における地域特性と職業群別膝機能評価の検討. リハビリテーション・ケア合同研究大会米子 2018, ポスター, 鳥取, 2018/10/3-4.

佐藤陽一、三浦平寛、仇 嘉禾、上月正博、伊藤修. 長期的運動が多発性嚢胞腎モデルラットの肝病変に与える効果. 第 26 回嚢胞性腎疾患研究会, 口述, 東京, 2018/10/19.

桑原貴之、大口陽子、渡辺慶大、椿 智子. 自動車運転免許未取得者に対する免許取得支援の経験. 第 11 回障害と自動車運転に関する研究会, ポスター, 新潟, 2018/10/20.

佐藤陽一、三浦平寛、仇 嘉禾、上月正博、伊藤修. 多発性肝嚢胞モデルラットの肝レニン・アンジオテンシン系に対する長期的運動の効果. 第 2 回日本リハビリテーション医学会秋季学会, 口述, 仙台, 2018/11/2-4.

仇 嘉禾、三浦平寛、佐藤陽一、上月正博、伊藤修. 嚢胞腎疾患 PCK ラットへの長期的運動の効果. 第 2 回日本リハビリテーション医学会秋季学会, ポスター, 仙台, 2018/11/2-4.

桑原貴之. OT を中心に家族・他職種と目標共有したことで息子の結婚式参加が可能となった症例. 第 15 回新潟県作業療法学会, 口述, 新潟, 2018/11/3.

関 悟. 長下肢装具 (KAFO) の臨床適応. 第 15 回新潟県作業療法学会, ポスター, 新潟, 2018/11/3.

柳澤好美. 介入初期より Activity を用いて意欲が向上した 2 症例—急性期病院の立場から—. 第 15 回新潟県作業療法学会, 口述, 新潟, 2018/11/3.

椿 智子. 電気刺激と治療姿勢の工夫により肩関節 ROM が改善した症例. 第 15 回新潟県作業療法学会, 口述, 新潟, 2018/11/3.

大津友樹、大口陽子、今井遼太. 非切断肢の機能再建に難渋した股関節切断症例. 第 27 回新潟県理学療法士学会, 口述, 新潟, 2018/11/17-18.

渡辺慶大、今井遼太、大口陽子、大津友樹、小林優樹、遠藤義幸、田村俊暁. Nasal High Flow を使用した頸髄損傷 1 例における嚥下機能への影響. 第 23 回新潟在宅呼吸療法研究会, 口述, 新潟, 2018/12/11.

研究費 (その他研究費)

佐藤陽一 : 宮城県腎臓協会研究助成金 多発性嚢胞腎の腎病変及び肝病変に対する運動療法の機序解明. 2018 - 2020

論文（総説 その他）

配野 治、遠藤義幸、田辺克也、田口英昭、齊藤 司. 安全な操作のために<10>. 第 25 回日本体外循環技術医学会関東甲信越大会抄録集: 68-73, 2018.

配野 治、遠藤義幸、田辺克也、田口英昭、齊藤 司. 安全な操作のために<11>. 日本体外循環技術医学会関東甲信越地方会ニュース: 19-23, 2018.

遠藤義幸、阿部健太、今井 南、勝又 稔、小熊文昭. 人工心肺回路および心筋保護回路共有化を目的とした病病連携の取り組み. 体外循環技術 46 (1): 33-37, 2019.

学会・研究会・講演会

勝又 稔. 当院の医療機器管理. 第 7 回新潟県臨床工学会, ワークショップ, 新潟, 2018/4/15.

小林広武、飯野則昭、勝又 稔、今井 南、木曾 匡、鳴海大輔、本間竜海、遠藤義幸、大平洋介、春日大志、山田 竜. 環境清拭用薬液との関連が疑われた透析装置の破損例. 第 60 回新潟透析医学会学術集会, 口演, 新潟, 2018/5/13.

遠藤義幸、木曾 匡、鳴海大輔、大平洋介、勝又 稔、有田匡孝、渡邊 達、廣野 暁. 当院におけるペースメーカー患者の新規心房細動発症タイミングの検討. 第 65 回日本不整脈心電学会学術大会, 口演, 東京, 2018/7/11-14.

遠藤義幸. COPD における多職種連携・チーム医療; 臨床工学技士の立場から. 横浜呼吸ケア・リハビリテーションセミナー, シンポジウム, 横浜, 2018/7/29.

遠藤義幸、阿部健太、今井 南、勝又 稔、小熊文昭. 人工心肺回路および心筋保護回路共有化を目的とした病病連携の取り組み. 第 44 回日本体外循環技術医学会大会, 口演, 金沢, 2018/11/10.

遠藤義幸. 明日から読める!? 医学論文. 埼玉県クリティカルケアスキルアップセミナー, 口演, 埼玉, 2019/1/27.

著書

篠原未希ほか. 全国各地の透析患者の食事情「過疎地域に住む左半身麻痺のある 50 歳代男性患者」. 臨牀透析 VOL. 34. NO. 11 日本メディカセンター: 81-86, 2018.

恩田佳代子ほか. がん患者への副作用対策レシピ. ニュートリションケア冬季増刊 メディカ出版: 107-110, 2018.

学会・研究会・講演会

本田恵理、今井直美、今井遼太、南場信人、高橋裕子、廣野 暁. 冠動脈疾患の再発予防を目指して～循環器チームにおける管理栄養士の役割～. 第 22 回日本病態栄養学会学術集会, 口演, 横浜, 2019/1/11-13.

篠原未希、太田実加子、恩田佳代子、本田恵理、兼藤 努. 食物アレルギーの特定と摂取可能献立の提供にセルフコーディングが有用だった血管浮腫の一例. 第 22 回日本病態栄養学会学術集会, ポスター, 横浜, 2019/1/11-13.

恩田佳代子、相澤直孝、平野謙一郎、長野央希、加納浩之、山岸宏和、篠原未来、太田実加子. 摂食嚥下に関する地域連携の取り組み. 第 34 回日本静脈経腸栄養学会学術講演会, ポスター, 東京, 2019/2/14-15.

Annals of Uonuma Kikan Byoin

VOL.3

発行者 病院長 内山 聖
教育センター長 高田 俊範

発行 令和元年8月20日

発行所 一般財団法人新潟県地域医療推進機構
魚沼基幹病院
〒949-7302 新潟県南魚沼市浦佐4132
TEL 025-777-3200
FAX 025-777-2811
<https://www.uonuma-kikan-hospital.jp/>

編集担当 総務課総務係 和田 晃
※電子データが必要な場合は、編集担当までご連絡ください。



新潟大学地域医療教育センター
魚沼基幹病院